

ANTENNA

2026年入試への万全の対策

第3回全統共通テスト模試

大学入学共通テスト本番まで残すところ約2か月、今年も入試本番のシーズンを迎え、受験生の皆さんにとってはこれまでの学習の成果を集大成すべき時期となりました。

さて、全国で234,453名の受験生が挑んだ第3回全統共通テスト模試の成績集計結果をここに掲載します。本冊子を皆さんの志望校決定の資料として、さらに不得意分野や基礎事項の最終チェック用として十分に活用し、来春入試での栄冠を手中に収めるよう頑張ってください。

最後まで気を緩めず、本番までに残された貴重な時間を決して焦ることなく、より一層の飛躍を期待しております。

も く じ

見直しシート	2
個人成績表の見方	3
成績統計資料	7
総合成績表	7
科目別成績表	8
教科科目別設問別成績表	10
設問別正答率表	13
学習対策	17
英語	17
数学	18
国語	18
理科	19
地理歴史、公民	22
情報	24
「成績推移」過回成績表示 申請について	25
お問い合わせ先一覧	27

*本冊子の編集内容の無断転載・複製を禁止します。

全統模試 見直しシート

STEP 1

個人成績表「1. 成績概況」を確認し、受験した教科・科目と得点を書き込みましょう。

STEP 2

個人成績表「3. 設問別成績」の、あなたと同じ学力レベル層や、第1志望校の一段階上の判定者との成績比較で差が見つかった設問を確認し、弱点となっている分野を書き込みましょう。

STEP 3

弱点分野を中心に、「学習の手引き」や本冊子の「学習対策」、模試ナビの解説講義動画などを確認し、今回の模試の反省点と、今後の具体的な対策（何を、いつまでにやるのか）を書き込みましょう。

STEP 4

個人成績表「2. 志望校別成績・評価」を参考に、次回の模試の目標得点を書き込みましょう。

STEP 1		STEP 2	STEP 3		STEP 4
教科・科目	得点/配点	弱点分野	今回の反省点	今後の対策	次回の目標得点
(例) 英語	52/100	文法・語法	基本的な文法の理解ができていない	次回の模試までに文法集の11～30ページをノートにまとめて復習する	65/100
	/				/
	/				/
	/				/
	/				/
	/				/
	/				/
	/				/
	/				/
	/				/
	/				/

個人成績表の見方

各項目について、詳しくはP.5~6をご確認ください。

1-(1) 成績概況

自分の学力状況や全国での位置づけを確認しましょう

- ✓ 各科目の得点や偏差値、順位、平均点などを表示しています。

教科・科目	得点	偏差値	順位	全国		県内		市内	
				平均点	偏差値	平均点	偏差値	平均点	偏差値
英語	90 / 100	70.4	S	50.6	69.4	49.6	61.6	52.4	59.7
リスニング	62 / 100	58.8	B	46.4	46.1	46.1	46.1	46.1	46.1
読解	80 / 100	66.5	S	49.4	59.4	48.1	63.8	46.6	54.5
作文	142 / 200	83.6	A	96.3	73.8	84.0	72.1	80.0	78.0
英語総合	152 / 200	64.1	A	105.9	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
国語	50 / 60	69.4	S	15.7	21.3	20.1	20.1	20.1	20.1
数学	47 / 60	63.3	A	18.4	23.8	23.8	23.8	23.8	23.8
理科	77 / 100	64.8	A	48.4	48.6	47.3	52.2	48.4	48.9
公民	56 / 100	53.3	C	52.1	44.1	44.1	44.1	44.1	44.1
体育	71 / 100	58.9	B	40.3	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9
総合	78 / 100	70.0	S	50.4	71.9	70.0	70.0	70.0	70.0
総合2	66.4	S	---	54.8	57.6	---	---	---	---

1-(2) 合格可能性評価用成績

合格可能性評価の算出に利用する成績を表示しています。

- ✓ 共通テスト換算得点：今回の模試の得点を、直近の大学入学共通テストの得点に換算したものです。

- ✓ 私人評価用偏差値：数学と国語の偏差値を表示しています。（志望大学の入試科目に応じて利用します）

全統共通テスト模試 個人成績表 第1面【秘】

教科・科目	得点	偏差値	順位	平均点	偏差値	順位	平均点	偏差値	順位
英語	90	70.4	S	50.6	69.4	49.6	61.6	52.4	59.7
リスニング	62	58.8	B	46.4	46.1	46.1	46.1	46.1	46.1
読解	80	66.5	S	49.4	59.4	48.1	63.8	46.6	54.5
作文	142	83.6	A	96.3	73.8	84.0	72.1	80.0	78.0
英語総合	152	64.1	A	105.9	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
国語	50	69.4	S	15.7	21.3	20.1	20.1	20.1	20.1
数学	47	63.3	A	18.4	23.8	23.8	23.8	23.8	23.8
理科	77	64.8	A	48.4	48.6	47.3	52.2	48.4	48.9
公民	56	53.3	C	52.1	44.1	44.1	44.1	44.1	44.1
体育	71	58.9	B	40.3	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9
総合	78	70.0	S	50.4	71.9	70.0	70.0	70.0	70.0
総合2	66.4	S	---	54.8	57.6	---	---	---	---

全統共通テスト模試 個人成績表 第2面【秘】

内容	得点/配点	全国平均点	校内平均点	偏差値	偏差値の差	学力レベル
1 読解-情報	10 / 10	6.6	7.1	8.9	1.1	11.0
2 読解-情報	18 / 20	11.0	13.0	18.3	-0.3	11.5
3 読解-資料	15 / 15	10.4	11.8	14.3	0.7	4.7
4 読解-記事	11 / 16	5.8	6.1	11.1	-0.1	-0.6
5 読解-記事	15 / 15	6.8	8.5	14.0	1.0	6.7
6 読解-説話	21 / 24	9.1	9.6	20.3	0.7	2.9

志望校別成績・評価

志望校	英語	国語	数学	理科	公民	体育	総合
第一志望	90	50	47	77	56	71	78
第二志望	80	47	47	71	56	71	78
第三志望	70	47	47	71	56	71	78
第四志望	60	47	47	71	56	71	78

設問別成績

分野	設問	得点	偏差値	判定
英語	1 読解-情報	10	8.9	11.0
	2 読解-情報	18	18.3	11.5
	3 読解-資料	15	14.3	4.7
	4 読解-記事	11	11.1	-0.6
	5 読解-記事	15	14.0	6.7
	6 読解-説話	21	20.3	2.9

志望校までの距離やライバルの中での位置づけを確認しましょう

- ✓ 大学・学部ごとの合格可能性評価、志望者内の順位、教科別成績などを表示しています。
- ✓ 合格可能性評価の記号の意味は右表のとおりです。受験教科・科目に不足がある場合などには、注意表示がされます。
- ✓ 第1志望~第4志望には「評価別人数」のグラフが表示しています。黒く塗られた得点（偏差値）帯があなたの位置を表しています。

- A：合格可能性評価80%以上
- B：合格可能性評価65%
- C：合格可能性評価50%
- D：合格可能性評価35%
- E：合格可能性評価20%以下
- G：教科・科目数の不足
- H：範囲不足

3 設問別成績

分野ごとの成績や、どの分野でライバルと差がついたのかを確認しましょう

- ✓ 各科目の設問別の成績や、成績を基にした学習アドバイスを表示しています。
- ✓ あなたと同じ学力レベル層（S~Fレベル）の平均点とあなたの得点を比較して、最も良かった設問に○、悪かった設問に▲を表示しています。
- ✓ 第1志望について、あなたの評価より一段階上の判定者との成績比較を表示しています。

個人成績表の見方

各項目について、詳しくはP.5～6をご確認ください。

4. 正答・誤答マーク読み取り状況

具体的にどの問題でつまづいたのか、マークの塗り間違いはなかったか確認しましょう

- 問題ごとのマーク読み取り状況と正誤状況を表示しています。

5. 成績推移

学習成果の長期的な推移を確認しましょう

- 昨年度の全統共通テスト高2、今年度の第1～3回全統共通テスト模試、全統プレ共通テストの成績推移を表示しています。

全統共通テスト模試 個人成績表 第3面【秘】

3 設問別成績

4 正答・誤答マーク読み取り状況

国語

大問番号	1	2
解答番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	
正誤	○ ○ ○ ○ × ○ ○ ○ × ○ ×	
マーク	1 2 4 3 3 2 4 5 4 1 3 3	

河合塾

全統共通テスト模試 個人成績表 第4面【秘】

5 成績推移

全統共通テスト (1月) 第1回共通テスト (5月) 第2回共通テスト (7月)

科目	得点	偏差値	レベル	科目	得点	偏差値	レベル	科目	得点	偏差値	レベル
英語	70	66.1	S	英語	81	64.6	A	英語	90	70.4	S
リスニング	60	59.2	B	リスニング	74	65.3	S	リスニング	96	72.5	S
数学ⅠA	60	60.0	A	数学ⅠA	58	58.0	B	数学ⅠA	62	59.2	B
数学ⅡB	81	61.9	A	数学ⅡB	73	59.2	B	数学ⅡB	80	66.5	S
数学ⅢC	141	61.5	A	数学ⅢC	131	59.0	B	数学ⅢC	142	63.6	A

河合塾

個人成績表の見方＜注釈＞

1-(1). 成績概況

■学カレベルの定義は以下の通りです。

S : 偏差値 65.0 以上	D : 偏差値 45.0 ~ 49.9
A : 偏差値 60.0 ~ 64.9	E : 偏差値 40.0 ~ 44.9
B : 偏差値 55.0 ~ 59.9	F : 偏差値 40.0 未満
C : 偏差値 50.0 ~ 54.9	

■得点欄の*印はその科目の学力に対する注意を表します。その科目の偏差値が、あなたの受験した科目の偏差値の平均値より5ポイント以上下回る場合に付されます。

■総合成績には、英数国総合、「総合1」(受験型別)、「総合2」(文理別)の3種類があります。このうち総合1の「国理6-8型、国文6-8型、国公6-6型」以外は、すべて教科の偏差値の平均を用いて順位づけを行います。これは、各教科の成績(母集団内での位置)を考慮しながら、総合成績を評価するという方針によります。したがって、各教科の成績評価の尺度として偏差値を採用し、それらを総合して評価する際に、それらの平均を取るという方法で順位づけを行います。

■英数国総合は、英数国3教科以上を受験したすべての受験生が母集団です。偏差値は、英語の偏差値、数学①と数学②の偏差値の平均値、国語の偏差値の平均値です。

■総合1は受験型別により、次の各型の母集団内での位置づけを表します。

1型: 国理6-8型(英語+L、数学①、数学②、国語、理科2科目、地理歴史、公民1科目、情報)

2型: 国文6-8型(英語+L、数学①、数学②、国語、理科1科目、地理歴史、公民2科目、情報)

3型: 国公6-6型(英語+L、数学①or数学②、国語、理科1科目、地理歴史、公民1科目、情報)

4型: 私立理系型 英語(リーディング)・数①or数②と理(1)または情報から1~2の3~4教科の偏差値の平均値

5型: 私立文系型 英語(リーディング)・国語と情報、数①or数②、地理歴史、公民のいずれか3~4教科の偏差値の平均値

・「リスニング」未受験の場合は「英語」の成績を用いて集計します。

・3型は1型、2型を含んだ母集団によるものです。

1型から3型の偏差値は総合得点による偏差値、4型、5型の偏差値は各科目の偏差値の平均です。また、4型、5型は4教科以下の受験者を対象とし、英語はリスニングを含まない成績を利用します。

■総合2は、文理別の位置づけを表します。

文系は英・国・「数or地or公」から2~3教科、理系は英・数・理から2~3教科の偏差値の平均です。

・文系または理系の区別は受験届の「文理別」欄のマークによります。未マークの場合は、最も高い志望順位にマークした国公立大学(マークしていない場合は私立大学)の文理区分によります。

・数学の偏差値は、①②両方を受験している場合は①②の平均を用います。片方のみを受験した場合は、その科目の偏差値を用います。

・理科、地理歴史、公民を複数科目受験している場合は、偏差値の高い科目を採用します。

■理科を2科目受験した場合は、上段に第1解答科目を表示します。

また、数学、理科、地理歴史、公民において、選択科目のマーク漏れなどにより選択科目が特定できない場合、最も正答率が高い科目を採用するとともに、科目欄に「#」を表示します。

■校内成績の母集団は、現役生は在籍高校、高卒生のうち予備校生はその予備校です。また、偏差値は母集団が20名以上の場合のみ表示します。校内順位は、全国偏差値をもとに順位づけしています。

1-(2). 合格可能性評価用成績

■来年度入試において大学入学共通テストを課す大学については、共通テスト換算得点による合格可能性評価を行います。詳しくは、個人成績表の第4面の説明を参照してください。

■共通テスト換算得点は、今年度の全統共通テスト模試の科目の得点を、直近の大学入学共通テストの得点に換算したものです。今年度の全統共通テスト模試の中での位置づけが、直近の大学入学共通テストの得点分布ではどのような位置に相当するかを示すもので、来年度の大学入学共通テストの得点を予想するものではありません。*理科、地理歴史、公民において第2解答科目の共通テスト換算得点が第1解答科目より高い場合は「*」を表示します。

■私大評価用偏差値は、私立大の合格可能性評価に使う数学と国語の偏差値です。数学と国語は、より正確な学力評価を行うため志望大学の出題科目・範囲に合わせて合格可能性評価を行います。

・数学は、数学①(I A、I)のみ受験した方は数学①、数学②(II B C)のみ受験した方は数学②の偏差値が数学(1科目)の欄に表示されます。数学①②両方を受験した方は数学(1科目)の欄には数学①、数学(2科目)の欄には数学①②の偏差値が表示されます。

(数学I Aまで課す大学は、数学①までの成績で判定します)。

・国語は、3種類(現代文のみ(110点)、現代文・古文(155点)、現代文・古文・漢文(200点))の偏差値が表示されます。

・数学・国語以外の教科については「1-(1)成績概況」に表示された、各科目の偏差値を使用します。

2. 志望校別成績・評価

■河合塾の合格可能性評価は、模試ごとの志望者分布だけでなく今年度の全体志望動向を含めて予想しています。

詳しくはこちらの該当模試のページからご確認ください。

www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/

■「定員」は、4年制大学および短期大学は募集人員、専門学校などは入学定員を表示しています。

・非公表の場合は河合塾推定で「*」を付しています。

・大学が若干名と公表している場合、もしくは、設定できない場合、募集人員を「0」と表示しています。

■志望した学部・学科の中で、第1志望者内での集計と総志望者での集計を行い、「順位」「平均偏差値」または「平均換算得点」を表示します。

・第1志望は、国公立大については前期、中期、後期の各日程内で最も志望順位の高い出願予定校の志望者を、私立大については私立大の中で最も志望順位の高い大学の志望者を集計対象としています。

・第2志望以下の大学・学部・学科における「第1志望者」欄の順位は、第1志望者の母集団に当てはめた場合の順位です。

■合格可能性評価

・志望大学に必要な教科・科目を1科目も受験していない場合は、合格可能性評価欄に「G」のみを付し、A~Eの評価は表示されません。

・志望大学に必要な教科・科目を一部受験していない場合は、国公立大、共通テスト利用私大・短大は不足科目を0点として扱い、一般の私立大・短大などは、受験している科目で評価偏差値を計算して評価を行い、合格可能性評価欄にG付きの評価(例: B G、C Gなど)を表示しています。



・合格可能性評価は、それぞれ次の意味を表します。

- A：合格可能性評価80%以上…今のところ合格圏にあります。このペースで頑張りましょう。
- B：合格可能性評価65%…油断大敵。合格圏へもうひとふんばりです。
- C：合格可能性評価50%…ボーダーライン。合格圏めざして頑張りましょう。
- D：合格可能性評価35%…これからの努力で、まだまだ伸びます。大いに頑張りましょう。
- E：合格可能性評価20%以下……再検討を要します。学習法を一考しましょう。
- G：教科・科目数の不足…志望大学入試に必要な教科・科目を受験していません。理科の「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」2つを課している大学を志望しているが、理科の「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」を1つしか受験していない場合、「G」が付されるが、得点・偏差値は、評価に反映されます。
- H：範囲不足…以下のいずれかの場合表示されます。
一般入試私大において英語（リスニング）、または数学の範囲が不足している場合。
なお、選択科目がある場合、国公立大、共通テスト利用私大・短大の場合は、換算得点の高い方、私立大・短大・専門学校などの場合は偏差値が高い方の科目を通常は用いますが、一方の科目が範囲不足となっている場合は、成績に関わりなく範囲不足になっていないもう一方の科目を用いて合格可能性評価を行います。
- *：英・数・国・理・地公・情報の教科試験が課されない等の理由により、合格可能性評価を行いません。

■評価別人数

- 第1～第4志望には「評価別人数」グラフを表示しています。黒く塗られた得点（偏差値）帯があなたの位置を表しています。人数はそれぞれの得点帯または偏差値帯の人数です。各合格可能性評価の下限値となる得点帯または偏差値帯の左に評価を表示しています。
- ・第1～第4志望のグラフの母集団は国公立大は出願予定者、私立大（共通テスト利用私大・短大含む）は総志望者です。国公立大の場合は、出願予定以外の志望において、あなたの成績と同じ成績の方が第1志望の母集団にいない場合（人数が0人の場合）は、当該箇所に「*」を表示しています。
- ・第5～第9志望の評価基準は下記 URL から確認できます。
www.kawai-juku.ac.jp/moshi/h

・BF（ボーダーフリー）とは、ボーダーラインが設定できなかった大学の募集区分（不合格者が少ないため、合格率50%となるボーダーラインがどの偏差値帯においても存在しないもの）を表しています。BFランクの大学・学部・学科のグラフは表示されません。

●国公立大、共通テスト利用私大・短大の場合

- ・A～Dの表記はそれぞれの評価の得点帯の下限値を示します。
- ・ボーダーラインはBとCの表示の間になります。
- ・得点帯の幅（例えば10点ごとなど）は1つのグラフの中でも、一律とはならない場合があります。

●私立大・短大・専門学校などの場合

- ・A～Dの表記はそれぞれの評価の偏差値帯の下限値を示します。
- ・ボーダーランクはCの表示の偏差値帯です。

■「教科別成績」

- 各志望校の教科別の「平均偏差値」「本人成績」「大学配点（各志望校の教科別配点）」が表示されます。
- ・出願予定大学以外の国公立大については、あなたの成績は集計対象の母集団に入っていません。
 - ・私立大・共通テスト利用私大の場合は、第2～第9志望の場合でもあなたの成績は母集団に含まれています。
 - ・平均偏差値は、当該大学を志望した受験者【国公立大は出願予定者（前期・中期・後期日程各1校まで）、その他は総志望者（第1～第9志望）】が、受験した科目（理科や地理歴史、公民で複数科目を受験している受験生については、それら全科目）の平均です。入試に課されない教科についても参考として表示しています。
 - ・本人成績は、国公立大、共通テスト利用私大・短大の場合は共通テスト換算得点（1-2合格可能性評価用成績参照）を入試の配点に換算した点数です。理科、地理歴史、公民で2科目以上受験し入試で課されている科目が1科目の場合は、第1解答科目を指定している場合は第1解答科目、第1解答科目を指定していない場合は共通テスト換算得点が高い方の得点が表示されます。
 - ・私立大・短大・専門学校などの場合は成績概況の欄の科目偏差値を表示しています（母集団はその科目を受験した方です）。理科、地理歴史、公民で2科目以上受験している場合は、入試で課されている科目が1科目であれば偏差値の高い方、2科目であればそれぞれの配点のウェイトをかけて計算した偏差値が表示されます。志望校の入試で教科間選択がある場合や、配点パターンが複数あり一律に決まらない場合、合格可能性評価に使用した教科の成績が表示されています。

・下記の記号は、それぞれ次の意味を表します。

- R：第1解答科目に指定されている科目を第2解答科目で受験
- G：必須教科・科目数の不足
- H：範囲不足

・大学配点は、入試に課される教科の教科別の配点のうち、あなたの合格可能性評価に採用された教科について表示しています。ただし、あなたが受験していない教科については表示されません。

3. 設問別成績

■第1志望校の一段階上の判定者との成績比較とは、例えばあなたがC判定であれば、B判定者の平均点との比較になります（A判定の場合はA判定者の平均点との比較になります）。母集団は国公立大は出願予定者、私立大は総志望者です。一段階上の判定者が一人もいない場合は表示されません。

4. 正答・誤答マーク読み取り状況

■正誤状況の表示については以下の通りです。

- …正答
- ×…誤答
- △…部分点
- S…正解パターンが複数あり正誤が表示できないもの
- N…無回答・マークがうすい等
- W…余分にマークしている

5. 成績推移

■昨年度の全統共通テスト高2模試、今年度の第1～3回全統共通テスト模試、全統プレ共通テストの成績推移を表示しています。第1回全統共通テスト模試以降については、理科、地理歴史、公民は上段が第1解答科目になります。

◆ 総合成績表 受験者総数 234,453名

(現役：208,449名/高卒：26,004名)

「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」は2つを1科目(100点満点)として扱っています。

- (注) 1. 国理6-8型は、英語+L、数学①、数学②、国語、理科2科目、地理歴史、公民1科目、情報の集計です。
 2. 国文6-8型は、英語+L、数学①、数学②、国語、理科1科目、地理歴史、公民2科目、情報の集計です。
 3. 国公6-6型は、英語+L、数学① or 数学②、国語、理科1科目、地理歴史、公民1科目、情報の集計で、国理6-8型、国文6-8型を含んだ母集団によるものです。
 また数学、理科、地理歴史、公民2科目受験の成績については、得点の高い方を使用します。
 4. 私立理系型、私立文系型で、理科および地理歴史、公民2科目受験の成績については、偏差値の高い方を使用します。
 5. 理系は英・数・理(1科目)、文系は英・国・数または地理歴史、公民(1科目)から2～3教科の平均偏差値です。
 6. 英数国総合は、全受験者の中で英数国を受験した全ての受験生を対象とし、英数国3教科の偏差値の平均値により順位付けを行います。

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
国理6-8型	1000	571.5	559.7	642.9	126.7	50.0	49.1	55.6	963	65	88259	75808	12451
国文6-8型	1000	579.2	571.7	659.2	126.0	50.0	49.4	56.3	965	61	54317	49641	4676
国公6-6型	800	471.0	463.7	526.3	100.0	50.0	49.3	55.5	778	55	151096	133444	17652
私立理系型	-----	-----	-----	-----	-----	46.0	45.5	49.8	-----	-----	17412	15400	2012
私立文系型	-----	-----	-----	-----	-----	47.1	46.8	50.1	-----	-----	60067	54172	5895
英数国総合	-----	-----	-----	-----	-----	50.8	50.2	55.3	-----	-----	169108	149954	19154
理系	-----	-----	-----	-----	-----	51.8	51.0	56.5	-----	-----	110575	95844	14731
文系	-----	-----	-----	-----	-----	50.3	49.9	53.9	-----	-----	121588	110479	11109

全国の受験者の中での位置を教科・科目別/志望別に確認できる「教科科目別成績順位表」「私大評価用順位表」「型別順位表」「コース別順位表」や、選択した志望校以外の大学・学部・学科の大学入学共通テスト・一般私大入試の合格可能性が確認できる「合格可能性評価基準一覧」を、河合塾 Web サイトに掲載しています。

スマートフォンの方は
こちら



www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/

◆科目別成績表

〈全受験者〉

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
英語	100	61.3	60.2	70.1	21.5	50.0	49.5	54.1	100	0	232161	206360	25801
リスニング	100	56.2	55.5	61.8	15.9	50.0	49.6	53.5	100	0	228525	203470	25055
英語+L	200	117.8	116.0	132.4	34.6	50.0	49.5	54.2	200	4	228178	203160	25018
数学I	100	42.5	42.5	43.0	20.1	50.0	50.0	50.2	96	0	1091	1017	74
数学IA	100	59.8	58.8	67.2	16.6	50.0	49.4	54.4	100	0	179828	159176	20652
数学IIBC	100	59.4	57.7	72.1	21.9	50.0	49.2	55.8	100	0	168836	148618	20218
数学I①②	200	120.4	117.7	139.7	35.9	50.0	49.3	55.4	200	0	168819	148414	20205
国語	200	110.3	109.0	120.4	30.0	50.0	49.6	53.4	200	0	221456	197093	24363
物理基礎	50	23.7	23.3	26.6	9.3	50.0	49.5	53.1	50	0	9246	8012	1234
物理	100	44.1	42.6	53.4	19.4	50.0	49.2	54.8	100	0	75072	64491	10581
化学基礎	50	24.5	24.2	28.7	8.4	50.0	49.6	54.9	50	0	49090	45736	3354
化学	100	43.4	41.4	55.2	18.5	50.0	48.9	56.4	100	0	93926	80408	13518
生物基礎	50	29.7	29.4	33.6	9.1	50.0	49.7	54.2	50	0	60986	57126	3860
生物	100	53.4	51.9	63.3	18.4	50.0	49.2	55.4	100	0	26894	23238	3656
地学基礎	50	30.6	30.3	33.3	9.1	50.0	49.6	52.9	50	0	23246	20740	2506
地学	100	44.2	42.2	49.0	19.4	50.0	49.0	52.5	100	0	556	391	165
世界史	100	56.2	55.3	64.5	18.4	50.0	49.5	54.5	100	0	40600	36463	4137
日本史	100	51.5	50.8	58.8	14.3	50.0	49.5	55.1	100	0	65482	59511	5971
地理	100	43.7	42.9	49.8	14.0	50.0	49.4	54.3	100	0	73075	63976	9099
倫理	100	57.2	56.0	65.4	15.9	50.0	49.2	55.2	100	0	16690	14508	2182
政治経済	100	58.7	58.0	65.7	14.5	50.0	49.5	54.9	100	0	74126	67450	6676
歴史公共	100	42.4	42.2	45.3	13.0	50.0	49.9	52.2	88	0	2005	1928	77
情報I	100	55.4	54.8	60.5	14.3	50.0	49.5	53.5	100	0	159562	141364	18198

〈理系〉

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
英語	100	63.2	61.9	72.3	-----	50.9	50.3	55.1	100	0	110762	96015	14747
リスニング	100	57.3	56.3	63.6	-----	50.7	50.1	54.6	100	0	108898	94646	14252
英語+L	200	120.8	118.4	136.4	-----	50.9	50.2	55.4	200	8	108745	94513	14232
数学I	100	44.5	44.7	40.5	-----	51.0	51.1	49.0	90	0	290	273	17
数学IA	100	63.1	62.2	68.8	-----	52.0	51.4	55.4	100	0	109709	95032	14677
数学IIBC	100	64.9	63.3	75.1	-----	52.5	51.8	57.2	100	0	106635	92031	14604
数学I①②	200	128.6	126.1	144.1	-----	52.3	51.6	56.6	200	0	106538	91943	14595
国語	200	110.7	109.0	121.9	-----	50.1	49.6	53.9	200	0	99972	86699	13273
物理基礎	50	20.2	20.2	22.4	-----	46.3	46.2	48.6	50	0	2722	2633	89
物理	100	44.2	42.7	53.5	-----	50.1	49.3	54.8	100	0	74659	64122	10537
化学基礎	50	22.3	22.2	23.3	-----	47.3	47.3	48.6	50	0	7013	6798	215
化学	100	43.4	41.5	55.2	-----	50.0	48.9	56.4	100	0	93453	79963	13490
生物基礎	50	27.0	27.0	28.0	-----	47.0	47.0	48.1	50	0	5078	4905	173
生物	100	53.7	52.1	63.5	-----	50.1	49.3	55.5	100	0	26304	22697	3607
地学基礎	50	25.0	24.8	26.3	-----	43.8	43.6	45.3	47	0	531	472	59
地学	100	45.4	43.4	49.9	-----	50.6	49.6	52.9	100	0	501	350	151
世界史	100	58.3	57.2	62.5	-----	51.2	50.5	53.5	100	3	2412	1896	516
日本史	100	53.7	52.5	58.0	-----	51.5	50.7	54.6	97	7	5015	3994	1021
地理	100	43.1	42.3	48.9	-----	49.5	49.0	53.7	100	0	60027	52906	7121
倫理	100	57.4	55.1	65.1	-----	50.2	48.7	54.9	100	6	5184	3976	1208
政治経済	100	58.9	57.9	64.7	-----	50.1	49.5	54.2	100	0	20022	17120	2902
歴史公共	100	43.5	43.4	46.1	-----	50.8	50.7	52.8	88	7	1126	1085	41
情報I	100	57.7	57.1	61.7	-----	51.6	51.2	54.4	100	1	94218	81416	12802

〈文 系〉

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
英語	100	59.6	58.8	67.1	-----	49.2	48.9	52.7	100	0	121399	110345	11054
リスニング	100	55.2	54.8	59.5	-----	49.4	49.1	52.1	100	0	119627	108824	10803
英語+L	200	115.1	113.9	127.1	-----	49.2	48.9	52.7	200	4	119433	108647	10786
数学I	100	41.8	41.6	43.7	-----	49.6	49.6	50.6	96	1	801	744	57
数学IA	100	54.6	53.8	63.3	-----	46.9	46.4	52.1	100	0	70119	64144	5975
数学IIB/C	100	50.1	48.7	64.1	-----	45.7	45.1	52.1	100	0	62201	56587	5614
数学①②	200	106.3	104.1	128.2	-----	46.1	45.5	52.2	200	1	62081	56471	5610
国語	200	109.9	109.1	118.7	-----	49.9	49.6	52.8	200	0	121484	110394	11090
物理基礎	50	25.2	24.8	26.9	-----	51.6	51.2	53.4	50	0	6524	5379	1145
物理	100	29.5	28.9	34.5	-----	42.5	42.2	45.1	90	0	413	369	44
化学基礎	50	24.9	24.5	29.0	-----	50.4	50.0	55.4	50	0	42077	38938	3139
化学	100	30.8	30.5	36.4	-----	43.2	43.0	46.2	80	3	473	445	28
生物基礎	50	29.9	29.7	33.8	-----	50.2	49.9	54.5	50	0	55908	52221	3687
生物	100	43.3	42.8	48.8	-----	44.5	44.2	47.5	100	4	590	541	49
地学基礎	50	30.7	30.4	33.4	-----	50.1	49.7	53.1	50	0	22715	20268	2447
地学	100	33.4	31.6	38.9	-----	44.4	43.5	47.3	73	4	55	41	14
世界史	100	56.1	55.2	64.7	-----	49.9	49.4	54.6	100	0	38188	34567	3621
日本史	100	51.3	50.7	58.9	-----	49.9	49.4	55.2	100	0	60467	55517	4950
地理	100	46.9	45.8	53.0	-----	52.3	51.5	56.6	100	0	13048	11070	1978
倫理	100	57.1	56.3	65.9	-----	49.9	49.4	55.5	100	0	11506	10532	974
政治経済	100	58.7	58.1	66.5	-----	50.0	49.6	55.4	100	0	54104	50330	3774
地歴公共	100	41.0	40.8	44.4	-----	48.9	48.8	51.6	84	0	879	843	36
情報I	100	52.1	51.6	57.6	-----	47.7	47.3	51.5	100	0	65344	59948	5396

◆教科科目別設問別成績表

〈英語（リーディング）〉

設問 ト-別	設問 内 容	配点	平 均 点				標準 偏差	最高 点	最低 点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒	卒-現				全 体	現 役	高 卒
		100	61.3	60.2	70.1	+9.9	21.5	100	0	232161	206360	25801
1	読解問題－広告	6	5.1	5.0	5.4	+0.4	1.5	6	0	232161	206360	25801
2	読解問題－ブログ	12	8.6	8.5	9.5	+1.0	3.3	12	0	232161	206360	25801
3	読解問題－ストーリー	9	7.4	7.3	7.9	+0.6	2.5	9	0	232161	206360	25801
4	読解表現融合問題－レポート推敲	12	7.8	7.7	8.9	+1.2	3.6	12	0	232161	206360	25801
5	読解問題－記事	16	10.9	10.8	12.1	+1.3	4.5	16	0	232161	206360	25801
6	読解問題－物語文	12	4.8	4.7	5.8	+1.1	3.8	12	0	232161	206360	25801
7	読解問題－論説文	16	8.9	8.7	10.7	+2.0	5.3	16	0	232161	206360	25801
8	読解表現融合問題－レポート作成	17	7.8	7.5	9.7	+2.2	5.5	17	0	232161	206360	25801

〈英語（リスニング）〉

設問 ト-別	設問 内 容	配点	平 均 点				標準 偏差	最高 点	最低 点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒	卒-現				全 体	現 役	高 卒
		100	56.2	55.5	61.8	+6.3	15.9	100	0	228525	203470	25055
1	短文発話内容一致問題	28	16.4	16.1	18.2	+2.1	6.3	28	0	228525	203470	25055
2	対話文イラスト選択問題	12	9.7	9.7	10.0	+0.3	2.7	12	0	228525	203470	25055
3	対話文質問選択問題	18	9.8	9.6	10.8	+1.2	4.3	18	0	228525	203470	25055
4	モノローグ型中文内容把握問題	12	5.5	5.4	6.2	+0.8	3.3	12	0	228525	203470	25055
5	モノローグ型長文内容把握問題	16	7.2	7.0	8.2	+1.2	4.1	16	0	228525	203470	25055
6	会話長文質問選択問題	14	7.7	7.7	8.4	+0.7	3.6	14	0	228525	203470	25055

〈数 学 I〉

設問 ト-別	設問 内 容	配点	平 均 点				標準 偏差	最高 点	最低 点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒	卒-現				全 体	現 役	高 卒
		100	42.5	42.5	43.0	+0.5	20.1	96	0	1091	1017	74
①①	循環小数の性質	10	5.1	5.1	5.2	+0.1	3.0	10	0	1091	1017	74
②	不等式の解、命題の真偽	10	5.2	5.2	5.2	+0.0	2.5	10	0	1091	1017	74
全体		20	10.3	10.3	10.4	+0.1		20	0	1091	1017	74
②	余弦定理、正弦定理、直円錐の体積	30	11.2	11.2	12.0	+0.8	8.1	30	0	1091	1017	74
③①	区間における最大値	15	6.6	6.6	6.9	+0.3	4.7	15	0	1091	1017	74
②	投球機から発射されるボールの軌道	15	4.1	4.1	4.1	+0.0	3.8	15	0	1091	1017	74
全体		30	10.7	10.6	11.0	+0.4		30	0	1091	1017	74
④	箱ひげ図、ヒストグラム、散布図	20	10.3	10.3	9.6	-0.7	5.5	20	0	1091	1017	74

〈数学 I A〉

設問 ト-別	設問 内 容	配点	平 均 点				標準 偏差	最高 点	最低 点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒	卒-現				全 体	現 役	高 卒
		100	59.8	58.8	67.2	+8.4	16.6	100	0	179828	159176	20652
①①	循環小数の性質	10	6.8	6.8	7.5	+0.7	2.7	10	0	179828	159176	20652
②	余弦定理、正弦定理、直円錐の体積	20	11.3	11.0	12.9	+1.9	4.8	20	0	179828	159176	20652
全体		30	18.1	17.8	20.4	+2.6		30	0	179828	159176	20652
②①	投球機から発射されるボールの軌道	15	8.9	8.8	9.9	+1.1	3.4	15	0	179828	159176	20652
②	外れ値、箱ひげ図、散布図	15	11.8	11.7	12.6	+0.9	3.8	15	0	179828	159176	20652
全体		30	20.7	20.5	22.5	+2.0		30	0	179828	159176	20652
③	相似、方べきの定理、チェバの定理	20	9.2	8.9	11.7	+2.8	5.1	20	0	179828	159176	20652
④	ゲームにおける戦略と期待値	20	11.8	11.6	12.6	+1.0	4.2	20	0	179828	159176	20652

〈数学 II B C〉

設問 ト-別	設問 内 容	配点	平 均 点				標準 偏差	最高 点	最低 点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒	卒-現				全 体	現 役	高 卒
		100	59.4	57.7	72.1	+14.4	21.9	100	0	168836	148618	20218
①	2倍角の公式、合成公式、最大値	15	11.5	11.3	13.2	+1.9	4.1	15	0	168836	148618	20218
②	音の高さ、常用対数表	15	9.5	9.2	11.4	+2.2	4.7	15	0	168836	148618	20218
③	接線、面積、絶対値	22	13.8	13.5	16.5	+3.0	5.6	22	0	168836	148618	20218
④	漸化式、数学的帰納法、和	16	9.3	9.0	11.7	+2.7	4.5	16	0	157378	137769	19609
⑤	標本平均、信頼区間、仮説検定	16	7.1	7.0	8.4	+1.4	3.5	16	0	99605	91288	8317
⑥	四面体、垂直、平行、体積比	16	8.0	7.7	10.5	+2.8	4.5	16	0	157966	138484	19482
⑦	媒介変数、楕円、双曲線、平行移動	16	8.8	8.6	10.2	+1.6	3.7	16	0	79103	67040	12063

〈国 語〉

設問 ト-別	設問 内 容	配点	平 均 点				標準 偏差	最高 点	最低 点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒	卒-現				全 体	現 役	高 卒
		200	110.3	109.0	120.4	+11.4	30.0	200	0	221456	197093	24363
1	現代文「論理的文章」	45	25.0	24.7	27.3	+2.6	8.5	45	0	221456	197093	24363
2	現代文「文学的文章」	45	31.2	31.1	32.7	+1.6	9.8	45	0	221456	197093	24363
3	現代文「図表と資料」	20	12.5	12.5	12.8	+0.3	5.1	20	0	221456	197093	24363
4	古文「擬古物語」「作り物語」	45	22.3	22.1	24.6	+2.5	10.3	45	0	221456	197093	24363
5	漢文「史伝」	45	19.2	18.8	23.1	+4.3	12.3	45	0	221456	197093	24363

〈物理基礎〉

設問 ト-ク	設問内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数			
			全 体	現 役	高 卒				卒-現	全 体	現 役	高 卒
		50	23.7	23.3	26.6	+3.3	9.3	50	0	9246	8012	1234
1	各分野の基本事項	16	8.8	8.6	9.8	+1.2	4.1	16	0	9246	8012	1234
2	物体の運動・定在波	18	7.8	7.6	8.6	+1.0	4.5	18	0	9246	8012	1234
3	熱とエネルギー保存	16	7.2	7.1	8.1	+1.0	3.8	16	0	9246	8012	1234

〈生物基礎〉

設問 ト-ク	設問内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数			
			全 体	現 役	高 卒				卒-現	全 体	現 役	高 卒
		50	29.7	29.4	33.6	+4.2	9.1	50	0	60986	57126	3860
1	細胞の構造と遺伝情報の発現	18	9.6	9.5	11.0	+1.5	3.6	18	0	60986	57126	3860
2	ホルモンの働きと適応免疫のしくみ	16	9.6	9.6	11.0	+1.4	4.1	16	0	60986	57126	3860
3	日本のバイオームと生態系の保全	16	10.5	10.4	11.6	+1.2	4.2	16	0	60986	57126	3860

〈物理〉

設問 ト-ク	設問内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数			
			全 体	現 役	高 卒				卒-現	全 体	現 役	高 卒
		100	44.1	42.6	53.4	+10.8	19.4	100	0	75072	64491	10581
1	各分野の基本事項	25	10.8	10.5	13.1	+2.6	6.5	25	0	75072	64491	10581
2	宇宙での移住空間の考察	25	12.3	12.0	14.0	+2.0	5.5	25	0	75072	64491	10581
3	弦の共振と単振動	25	11.3	10.8	13.8	+3.0	6.5	25	0	75072	64491	10581
4	磁場へ進むコイルの電磁誘導	25	9.8	9.3	12.5	+3.2	7.0	25	0	75072	64491	10581

〈生物〉

設問 ト-ク	設問内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数			
			全 体	現 役	高 卒				卒-現	全 体	現 役	高 卒
		100	53.4	51.9	63.3	+11.4	18.4	100	0	26894	23238	3656
1	遺伝子頻度・呼吸	22	12.0	11.6	14.7	+3.1	5.6	22	0	26894	23238	3656
2	動物の配偶子形成	20	11.5	11.1	13.9	+2.8	5.8	20	0	26894	23238	3656
3	動物の反応と行動	20	10.7	10.4	12.3	+1.9	5.2	20	0	26894	23238	3656
4	植物の環境応答	18	9.5	9.3	11.2	+1.9	5.0	18	0	26894	23238	3656
5	個体群・種内関係	20	9.7	9.5	11.3	+1.8	4.9	20	0	26894	23238	3656

〈化学基礎〉

設問 ト-ク	設問内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数			
			全 体	現 役	高 卒				卒-現	全 体	現 役	高 卒
		50	24.5	24.2	28.7	+4.5	8.4	50	0	49090	45736	3354
1	物質の構成、物質の変化	30	12.4	12.1	15.2	+3.1	5.9	30	0	49090	45736	3354
2	溶液に関する総合問題	20	12.1	12.0	13.5	+1.5	4.3	20	0	49090	45736	3354

〈地学基礎〉

設問 ト-ク	設問内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数			
			全 体	現 役	高 卒				卒-現	全 体	現 役	高 卒
		50	30.6	30.3	33.3	+3.0	9.1	50	0	23246	20740	2506
1	プレート、変成岩、柱状図	23	11.8	11.6	13.4	+1.8	5.4	23	0	23246	20740	2506
2	大気の大循環、地上天気図	14	8.8	8.7	9.4	+0.7	3.5	14	0	23246	20740	2506
3	太陽系の天体	7	4.8	4.7	5.1	+0.4	2.5	7	0	23246	20740	2506
4	自然災害	6	5.2	5.2	5.4	+0.2	1.6	6	0	23246	20740	2506

〈化学〉

設問 ト-ク	設問内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数			
			全 体	現 役	高 卒				卒-現	全 体	現 役	高 卒
		100	43.4	41.4	55.2	+13.8	18.5	100	0	93926	80408	13518
1	化学結合、気体、溶液	20	9.8	9.3	12.6	+3.3	5.0	20	0	93926	80408	13518
2	化学反応と熱、化学平衡、電池	20	8.2	7.8	10.5	+2.7	5.1	20	0	93926	80408	13518
3	無機物質の性質と反応	20	9.1	8.7	11.9	+3.2	5.4	20	0	93926	80408	13518
4	有機化合物の構造、性質と反応	20	8.9	8.5	11.7	+3.2	5.4	20	0	93926	80408	13518
5	亜鉛に関する総合問題	20	7.4	7.2	8.5	+1.3	4.0	20	0	93926	80408	13518

〈地学〉

設問 ト-ク	設問内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数			
			全 体	現 役	高 卒				卒-現	全 体	現 役	高 卒
		100	44.2	42.2	49.0	+6.8	19.4	100	0	556	391	165
1	地球の内部、マントル、地震	20	9.3	8.8	10.5	+1.7	5.7	20	0	556	391	165
2	鉱物、マグマと火成岩	15	6.1	5.8	6.8	+1.0	4.5	15	0	556	391	165
3	地質図、生命の進化と気候変動	21	10.9	10.1	12.6	+2.5	5.6	21	0	556	391	165
4	大気と海洋の相互作用、地球環境	22	10.3	10.1	10.9	+0.8	5.0	22	0	556	391	165
5	惑星と小惑星の運動、恒星	22	7.6	7.3	8.2	+0.9	5.5	22	0	556	391	165

〈世界史〉

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数			
			全体	現役	高卒				卒-現	全体	現役	高卒
トータル		100	56.2	55.3	64.5	+9.2	18.4	100	0	40600	36463	4137
1	環境問題	25	13.8	13.6	16.0	+2.4	5.7	25	0	40600	36463	4137
2	象徴としての「色」	19	10.5	10.2	12.3	+2.1	4.9	19	0	40600	36463	4137
3	境界をめぐる歴史	18	10.9	10.7	12.4	+1.7	4.8	18	0	40600	36463	4137
4	情報伝達手段の発達	16	8.5	8.3	9.7	+1.4	4.1	16	0	40600	36463	4137
5	特定の主題に対する考察	22	12.6	12.4	14.1	+1.7	5.0	22	0	40600	36463	4137

〈日本史〉

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数			
			全体	現役	高卒				卒-現	全体	現役	高卒
トータル		100	51.5	50.8	58.8	+8.0	14.3	100	0	65482	59511	5971
1	国際情勢と事件	25	14.5	14.3	16.2	+1.9	5.2	25	0	65482	59511	5971
2	木や森林の利用の歴史	15	7.5	7.4	8.4	+1.0	3.5	15	0	65482	59511	5971
3	古代の政変と皇族	15	8.3	8.1	9.8	+1.7	3.8	15	0	65482	59511	5971
4	中世の陸奥・出羽と蝦夷地	15	6.8	6.7	8.2	+1.5	3.6	15	0	65482	59511	5971
5	江戸時代の旅と文化	15	9.1	9.0	10.1	+1.1	3.4	15	0	65482	59511	5971
6	近代の総選挙をめぐる政治動向	15	5.3	5.3	6.1	+0.8	3.5	15	0	65482	59511	5971

〈地理〉

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数			
			全体	現役	高卒				卒-現	全体	現役	高卒
トータル		100	43.7	42.9	49.8	+6.9	14.0	100	0	73075	63976	9099
1	環境問題と資源・エネルギー問題	12	5.9	5.8	6.6	+0.8	2.9	12	0	73075	63976	9099
2	青森県青森市の地域調査	13	5.1	5.0	5.6	+0.6	2.8	13	0	73075	63976	9099
3	農林水産業	20	9.2	9.1	10.2	+1.1	4.2	20	0	73075	63976	9099
4	村落・都市	21	7.9	7.7	9.4	+1.7	4.5	21	0	73075	63976	9099
5	ヨーロッパ地誌	17	8.0	7.8	9.4	+1.6	4.5	17	0	73075	63976	9099
6	環インド洋地誌	17	7.6	7.4	8.6	+1.2	4.1	17	0	73075	63976	9099

〈倫理〉

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数			
			全体	現役	高卒				卒-現	全体	現役	高卒
トータル		100	57.2	56.0	65.4	+9.4	15.9	100	0	16690	14508	2182
1	持続可能な地域づくり	12	9.6	9.6	9.8	+0.2	2.5	12	0	16690	14508	2182
2	科学技術の発達と社会	13	8.2	8.1	9.1	+1.0	3.0	13	0	16690	14508	2182
3	東洋の源流思想	18	11.5	11.3	13.1	+1.8	4.2	18	0	16690	14508	2182
4	西洋の現代思想	18	8.3	8.0	10.2	+2.2	4.2	18	0	16690	14508	2182
5	近世以降の日本の思想	18	6.6	6.4	8.5	+2.1	4.2	18	0	16690	14508	2182
6	現代の諸課題と倫理	21	12.9	12.6	14.8	+2.2	5.4	21	0	16690	14508	2182

〈政治・経済〉

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数			
			全体	現役	高卒				卒-現	全体	現役	高卒
トータル		100	58.7	58.0	65.7	+7.7	14.5	100	0	74126	67450	6676
1	持続可能な地域づくり	12	9.5	9.5	9.8	+0.3	2.6	12	0	74126	67450	6676
2	科学技術の発達と社会	13	7.5	7.4	8.6	+1.2	3.0	13	0	74126	67450	6676
3	地方自治と日本の政治	19	11.8	11.6	13.6	+2.0	4.3	19	0	74126	67450	6676
4	現代の国際政治	18	8.3	8.1	9.7	+1.6	4.3	18	0	74126	67450	6676
5	国民生活の現状と課題	19	11.5	11.4	12.6	+1.2	4.1	19	0	74126	67450	6676
6	国際社会の諸問題	19	10.2	10.1	11.5	+1.4	4.0	19	0	74126	67450	6676

〈地理総合／歴史総合／公共〉

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数			
			全体	現役	高卒				卒-現	全体	現役	高卒
トータル		100	42.4	42.2	45.3	+3.1	13.0	88	0	2005	1928	77
1	地-環境問題と資源エネルギー問題	12	4.3	4.3	4.4	+0.1	2.7	12	0	1485	1429	56
2	地-青森県青森市の地域調査	13	4.3	4.3	4.3	+0.0	2.7	13	0	1485	1429	56
3	地-自然環境と災害	13	5.8	5.8	6.1	+0.3	3.3	13	0	1485	1429	56
4	地-人口・都市・居住問題	12	5.8	5.8	6.1	+0.3	3.1	12	0	1485	1429	56
全体		50	20.2	20.1	21.0	+0.9		40	0	1485	1429	56
1	歴-国際情勢と事件	25	12.9	12.8	13.5	+0.7	4.8	25	0	965	918	47
2	歴-環境問題	25	9.3	9.3	10.6	+1.3	5.0	25	0	965	918	47
全体		50	22.2	22.1	24.1	+2.0		47	3	965	918	47
1	公-持続可能な地域づくり	12	8.1	8.1	8.9	+0.8	3.2	12	0	1519	1472	47
2	公-現代の経済	12	4.5	4.5	5.6	+1.1	3.1	12	0	1519	1472	47
3	公-基本的人権の保障と裁判	13	4.5	4.5	5.0	+0.5	2.8	13	0	1519	1472	47
4	公-科学技術の発達と社会	13	5.0	4.9	5.6	+0.7	3.3	13	0	1519	1472	47
全体		50	22.1	22.0	25.1	+3.1		44	0	1519	1472	47

〈情報 I〉

設問	設問内容	配点	平均点			標準偏差	最高点	最低点	人数			
			全体	現役	高卒				卒-現	全体	現役	高卒
トータル		100	55.4	54.8	60.5	+5.7	14.3	100	0	159562	141364	18198
1	情報モラル、メディアの発達等	20	14.9	14.8	15.6	+0.8	3.0	20	0	159562	141364	18198
2	データの圧縮、シミュレーション	30	17.9	17.7	19.4	+1.7	6.5	30	0	159562	141364	18198
3	アルゴリズムとプログラミング	25	8.5	8.4	9.8	+1.4	5.3	25	0	159562	141364	18198
4	アンケート、尺度水準、仮説の検証	25	14.1	13.9	15.6	+1.7	4.5	25	0	159562	141364	18198

◆設問別正答率表

〈英語(リーディング)〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	80.4
	2	81.2
	3	92.0
トータル		84.5
2	4	56.9
	5	80.6
	6	62.1
	7	87.3
トータル		71.7
3	8	81.5
	9-12	81.2
	13	84.1
トータル		82.3
4	14	75.9
	15	55.3
	16	64.9
	17	64.7
トータル		65.2
5	18	73.1
	19	69.4
	20	57.9
	21	80.6
	22	73.0
	23	61.6
トータル		69.3
6	24-27	24.2
	28	52.9
	29	54.1
	30-31	29.0
トータル		40.0
7	32	64.4
	33	64.9
	34-35	48.8
	36	44.4
	37	59.0
トータル		56.3
8	38	41.9
	39	55.4
	40-42	33.2
	43	43.8
トータル		45.9

〈英語(リスニング)〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	52.0
	2	73.3
	3	40.6
	4	80.5
	5	67.1
	6	40.9
	7	65.1
	8	43.8
トータル		57.9
2	9	58.3
	10	95.3
	11	88.9
トータル		80.8
3	12	59.6
	13	34.5
	14	69.1
	15	74.1
	16	46.1
	17	41.8
トータル		54.2
4	18-21	27.9
	22	59.0
	23	70.3
	24	65.4
	25	34.0
	26	52.2
	トータル	
5	27	55.5
	28-29	11.6
	30-31	26.7
	32	45.3
	33	58.7
トータル		39.5
6	34	61.7
	35	24.5
	36	58.3
	37	70.5
トータル		53.7

〈数学 I〉

問題番号	解答番号	正答率
①	ア	60.5
	イ	70.9
	ウ	71.9
	エ	46.4
	オ	50.9
	カ	38.5
	ク	30.9
	ケ	52.8
	コ	77.6
	ク	77.9
②	ソ	77.5
	タ	38.4
	チ	28.2
	テ	11.9
	ト	51.9
	トータル	52.4
②	ア	59.4
	イ	50.7
	ウ	63.4
	エ	64.5
	オ	40.7
	カ	27.5
	ク	3.1
	ス	0.5
	セ	38.7
	ソ	61.8
③	ア	57.4
	ウ	50.7
	カ	50.7
	ク	31.5
	ケ	19.1
	ト	44.1
	トータル	51.8
	ス	42.7
	ソ	37.4
	チ	23.5
④	ア	65.5
	イ	53.3
	ウ	60.5
	エ	40.7
	オ	58.9
	カ	27.7
	ク	67.6
	コ	59.5
	シ	51.3
	サ	49.7
トータル		53.5

〈数学 I A〉

問題番号	解答番号	正答率
①	ア	66.0
	イ	83.6
	ウ	84.4
	エ	57.0
	オ	59.1
	カ	67.5
	ク	57.7
	ケ	67.9
	コ	76.5
	ク	87.6
②	ソ	85.6
	タ	77.2
	チ	61.2
	テ	11.7
	ト	4.0
	トータル	57.7
	トータル	62.8
	ア	89.4
	エ	82.2
	カ	86.1
③	ク	72.4
	コ	52.8
	セ	58.7
	テ	2.1
	ト	63.4
	ト	87.7
	ナ	78.3
	ニ	81.9
	ヌ	66.9
	ネ	87.0
④	ノ	79.7
	ハ	77.4
	ヒ	75.6
	ト	79.3
	トータル	71.9
	ア	88.8
	ウ	89.7
	オ	79.3
	カ	58.8
	サ	59.9
⑤	ソ	29.0
	ツ	24.6
	ナ	13.9
	ヌ	2.3
	ト	49.6
	ア	93.9
	エ	89.3
	キ	84.7
	コ	72.8
	ス	61.7
⑥	タ	26.5
	チ	9.9
	ト	62.7
	ア	88.8
	ウ	89.7
	オ	79.3
	カ	58.8
	サ	59.9
	ソ	29.0
	ツ	24.6
⑦	ナ	13.9
	ヌ	2.3
	ト	49.6
	ア	93.9
	エ	89.3
	キ	84.7
	コ	72.8
	ス	61.7
	タ	26.5
	チ	9.9
⑧	ト	62.7
	ア	98.5
	イ	76.5
	ウ	86.9
	エ	95.7
	オ	87.8
	カ	69.7
	ク	53.1
	ケ	59.8
	コ	78.5
⑨	ア	78.5
	イ	81.6
	ウ	77.8
	エ	81.5
	オ	59.9
	カ	65.5
	ク	61.4
	ケ	46.4
	コ	33.6
	ト	65.2
⑩	ア	96.8
	ウ	68.5
	エ	70.1
	オ	89.5
	カ	80.9
	ク	56.8
	ケ	78.1
	コ	74.4
	ト	45.2
	ト	59.1
⑪	ヌ	42.6
	ノ	27.0
	ト	65.9
	ア	89.9
	オ	88.3
	カ	56.7
	ク	77.8
	コ	85.0
	シ	69.4
	ソ	58.5
⑫	タ	49.2
	チ	39.6
	テ	49.2
	ト	13.7
	ト	61.6
	ア	65.0
	イ	34.5
	ウ	73.5
	エ	46.8
	オ	43.0
⑬	カ	55.5
	ク	46.8
	ケ	57.6
	コ	40.1
	サ	26.6

〈数学 II BC〉

問題番号	解答番号	正答率
①	ア	98.5
	イ	76.5
	ウ	86.9
	エ	95.7
	オ	87.8
	カ	69.7
	ク	53.1
	ケ	59.8
	コ	78.5
	ト	78.5
②	ア	78.5
	イ	81.6
	ウ	77.8
	エ	81.5
	オ	59.9
	カ	65.5
	ク	61.4
	ケ	46.4
	コ	33.6
	ト	65.2
③	ア	96.8
	ウ	68.5
	エ	70.1
	オ	89.5
	カ	80.9
	ク	56.8
	ケ	78.1
	コ	74.4
	ト	45.2
	ト	59.1
④	ヌ	42.6
	ノ	27.0
	ト	65.9
	ア	89.9
	オ	88.3
	カ	56.7
	ク	77.8
	コ	85.0
	シ	69.4
	ソ	58.5
⑤	タ	49.2
	チ	39.6
	テ	49.2
	ト	13.7
	ト	61.6
	ア	65.0
	イ	34.5
	ウ	73.5
	エ	46.8
	オ	43.0
⑥	カ	55.5
	ク	46.8
	ケ	57.6
	コ	40.1
	サ	26.6

問題番号	解答番号	正答率	
⑤	シ	20.7	
	ス	70.4	
	タ	11.3	
	チ	44.0	
	テ	31.8	
トータル		44.5	
⑥	ア	96.8	
	エ	83.7	
	オ	70.4	
	キ	74.7	
	ク	81.7	
	ケ	65.2	
	コ	49.2	
	シ	43.1	
	ス	49.9	
	タ	34.4	
⑦	チ	35.9	
	ニ	34.7	
	ヌ	34.5	
	ハ	3.2	
	ト	54.1	
	ア	91.9	
	エ	88.0	
	カ	68.4	
	ク	85.9	
	コ	61.9	
⑧	ス	46.1	
	ソ	54.3	
	ツ	36.1	
	テ	22.4	
	ニ	16.3	
	ネ	23.2	
	ノ	18.6	
	ハ	9.9	
	トータル		46.2

〈国語〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	75.2
	2	80.4
	3	63.1
	4	78.2
	5	74.2
	6	90.4
	7	29.9
	8	75.4
	9	39.8
	10	24.7
トータル		63.1
2	11	55.0
	12	65.6
	13	79.3
	14	77.9
	15	72.9
	16	68.3
	17	64.9
トータル		69.1
3	18	44.5
	19	67.4
	20	77.3
	21	55.6
	22	71.1
トータル		63.2
4	23	42.3
	24	76.9
	25	56.4
	26	47.0
	27	53.0
	28	67.7
	29	31.7
	30	33.7
トータル		51.1
5	31	42.6
	32	47.9
	33	52.3
	34	47.1
	35	44.8
	36	43.7
37	41.4	
38	32.6	
トータル		44.1

〈物理基礎〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	65.2
	2	61.5
	3	55.2
	4	79.1
	5	21.8
トータル		56.6
2	6	49.9
	7	81.2
	8	48.6
	9	32.3
	10	25.8
	11	39.7
トータル		46.3
3	12	45.4
	13	65.8
	14	51.1
	15	37.4
	16	38.6
	17	26.8
トータル		44.2

〈物理〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	64.4
	2	44.4
	3	40.6
	4	36.7
	5	30.7
トータル		43.4
2	6	75.6
	7	29.5
	8	79.9
	9	10.5
	10	49.9
	トータル	
3	11	75.6
	12	51.6
	13	58.9
	14	19.2
	15	19.9
トータル		45.0
4	16	61.0
	17	55.9
	18	34.2
	19	38.9
	20	38.3
	21	24.0
	22	32.3
トータル		40.6

〈化学基礎〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	19.9
	2	46.2
	3	64.3
	4	40.2
	5	37.1
	6	33.7
	7	34.0
	8	53.3
	9	44.9
	10	38.1
トータル		41.2
2	11	64.6
	12	50.9
	13	55.3
	14	96.1
	15	77.8
	16	47.3
	17	38.5
トータル		61.5

〈化学〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	73.3
	2	75.0
	3	18.2
	4	62.4
	5	40.1
	6	38.3
トータル		51.2
2	7	58.0
	8	51.0
	9	48.0
	10	22.5
	11	38.5
	12	27.9
トータル		41.0
3	13	38.3
	14	38.8
	15	64.3
	16	51.9
	17	48.2
	18	35.3
トータル		46.1
4	19	50.5
	20	69.5
	21	55.3
	22	42.8
	23	30.4
24-25		29.6
トータル		46.3
5	26-27	74.8
	28	31.9
	29	54.5
	30	23.7
	31	22.4
32		19.2
トータル		37.8

〈生物基礎〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	85.6
	2	75.0
	3	17.2
	4	72.8
	5	21.5
	6	61.3
	7	47.6
トータル		54.9
2	8	56.1
	9	41.7
	10	73.7
	11	69.9
	12	61.1
13		58.9
トータル		60.2
3	14	57.0
	15	43.2
	16	68.8
	17	84.7
	18	71.5
トータル		65.0

〈生 物〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	34.3
	2	64.5
	3	54.2
	4	76.1
	5	50.0
	6	45.2
	トータル	54.1
2	7	48.1
	8	66.2
	9	64.0
	10	50.7
	11	58.1
	トータル	57.4
3	12	55.6
	13	63.1
	14	41.1
	15	60.3
	16	46.9
	トータル	53.4
4	17	78.2
	18	54.8
	19	25.1
	20	52.1
		トータル
5	21	84.4
	22	38.7
	23	17.3
	24	37.5
	25	55.4
	トータル	46.7

〈地学基礎〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	42.2
	2	57.8
	3	57.5
	4	48.0
	5	63.7
	6	45.8
	7	44.0
	トータル	51.3
2	8	26.9
	9	64.5
	10	72.1
	11	84.5
		トータル
3	12	66.3
	13	70.8
		トータル
4	14	84.0
	15	90.1
		トータル

〈地 学〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	32.2
	2	70.5
	3	43.7
	4	35.6
	5	51.3
	トータル	46.7
2	6	38.8
	7	34.4
	8	38.5
	9	50.4
	トータル	40.5
3	10	41.9
	11	53.2
	12	40.1
	13	32.4
	14	50.9
	15	81.5
	トータル	50.0
4	16	76.4
	17	29.1
	18	47.8
	19	56.3
	20	47.5
	21	32.0
	トータル	48.2
5	22	21.4
	23	24.6
	24	41.0
	25	48.6
	26	35.8
	27	36.3
	トータル	34.6

〈世界史〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	69.1
	2	52.9
	3	54.2
	4	35.8
	5	38.1
	6	86.0
	7	50.5
	8	62.3
	トータル	56.1
2	9	51.5
	10	34.6
	11	47.2
	12	78.7
	13	51.8
	14	63.6
	トータル	54.6
3	15	66.0
	16	57.0
	17	57.1
	18	68.0
	19	50.4
	20	64.2
	トータル	60.4
4	21	40.1
	22	30.2
	23	59.8
	24	65.6
	25	64.6
	トータル	52.1
5	26	45.0
	27	49.6
	28	53.0
	29	41.3
	30	52.6
	31	84.0
	32	75.8
	トータル	57.3

〈日本史〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	68.3
	2	54.5
	3	57.6
	4	29.6
	5	83.9
	6	68.8
	7	47.4
	8	45.1
	トータル	56.9
2	9	50.7
	10	61.9
	11	46.8
	12	56.3
	13	34.2
	トータル	50.0
3	14	47.3
	15	61.1
	16	51.2
	17	81.7
	18	35.1
	トータル	55.3
4	19	37.0
	20	55.8
	21	62.7
	22	40.0
	23	32.3
	トータル	45.6
5	24	91.4
	25	69.0
	26	35.8
	27	71.8
	28	34.1
	トータル	60.4
6	29	25.1
	30	44.2
	31	24.3
	32	54.2
	33	30.0
	トータル	35.6

〈地 理〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	43.0
	2	42.5
	3	26.1
	4	84.0
	トータル	48.9
2	5	74.6
	6	13.4
	7	52.5
	8	25.3
	トータル	41.4
3	9	67.5
	10	14.4
	11	55.0
	12	64.0
	13	34.8
	トータル	49.0
4	14	49.0
	15	12.9
	16	72.7
	17	28.5
	18	24.9
	トータル	37.2
5	19	48.9
	20	34.9
	21	37.3
	22	64.6
	23	50.8
	トータル	47.7
6	24	46.6
	25	39.1
	26	39.0
	27	34.0
	28	72.0
	トータル	43.2

〈倫 理〉

問題番号	解答番号	正答率	
1	1	88.8	
	2	91.2	
	3	81.8	
	4	58.2	
	トータル	80.0	
2	5	58.0	
	6	76.7	
	7	94.7	
	8	19.8	
	トータル	62.3	
3	9	67.6	
	10	47.9	
	11	36.6	
	12	65.2	
3	13	84.4	
	14	83.2	
		トータル	64.2
	4	15	17.1
16		74.5	
17		19.4	
18		39.5	
19		59.0	
20		67.5	
	トータル	46.2	
5	21	41.2	
	22	28.3	
	23	48.0	
	24	12.3	
	25	61.5	
	26	29.9	
	トータル	36.9	
6	27	82.3	
	28	69.5	
	29	58.2	
	30	66.6	
	31	36.1	
	32	56.2	
	トータル	61.5	

〈政治・経済〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	88.4
	2	89.2
	3	79.3
	4	59.5
	トータル	79.1
2	5	30.7
	6	74.1
	7	93.4
	8	26.4
	トータル	56.2
3	9	54.1
	10	64.5
	11	72.9
	12	52.3
	13	37.3
	14	94.2
	トータル	62.5
4	15	47.5
	16	64.8
	17	46.6
	18	55.9
	19	43.9
	20	17.3
	トータル	46.0
5	21	69.0
	22	41.6
	23	54.4
	24	91.3
	25	76.3
	26	37.9
	トータル	61.7
6	27	64.9
	28	92.3
	29	81.2
	30	20.7
	31	33.0
	32	36.3
	トータル	54.7

〈地理総合／歴史総合／公共〉

問題番号	解答番号	正答率
1	1	33.3
	2	16.0
	3	22.3
	4	70.8
	トータル	35.6
2	5	57.8
	6	9.6
	7	50.4
	8	22.1
	トータル	35.0
3	9	74.1
	10	51.3
	11	25.4
	12	33.1
	トータル	46.0
4	13	12.9
	14	70.0
	15	48.6
	16	63.2
	トータル	48.7
	総トータル	41.3
1	1	56.2
	2	37.6
	3	43.8
	4	28.7
	5	86.5
	6	64.8
	7	48.1
	8	34.5
	トータル	50.0
2	9	51.9
	10	25.9
	11	34.1
	12	23.4
	13	20.7
	14	69.2
	15	34.5
	16	44.8
	トータル	38.1
	総トータル	44.0
1	1	79.0
	2	76.2
	3	66.9
	4	49.1
	トータル	67.8
2	5	29.6
	6	46.9
	7	25.0
	8	48.6
	トータル	37.5
3	9	10.2
	10	31.9
	11	65.3
	12	38.8
	トータル	36.5

問題番号	解答番号	正答率
4	13	22.3
	14	45.4
	15	70.0
	16	12.4
	トータル	37.5
	総トータル	44.8

〈情報 I〉

問題番号	解答番号	正答率
1	ア	94.8
	イ	56.2
	ウ	96.4
	エ	65.4
	オ	93.3
	カ	87.7
	キ	88.9
	ク	91.3
	ケ	75.3
	コ	81.2
	サ	36.1
	シ	40.1
	トータル	75.6
2	ア	56.4
	イ	72.9
	ウ	71.9
	エ	78.5
	オ	56.0
	カ	82.4
	キ	79.0
	ク	33.4
	ケ	46.8
	コ	19.2
	サ	19.2
	シ	19.2
	トータル	59.7
3	ア	92.1
	イ	44.3
	ウ	81.3
	エ	32.4
	オ	30.2
	カ	43.8
	キ	33.2
	ク	59.6
	ケ	43.7
	コ	47.2
	サ	32.4
	シ	29.2
ス	26.3	
ソ	35.9	
タ	10.1	
チ	8.4	
テ	8.4	
ト	8.4	
	トータル	40.6
4	ア	49.3
	イ	30.5
	ウ	39.1
	エ	6.6
	オ	88.8
	カ	92.4
	キ	71.2
	ク	82.2
	ケ	76.8
	コ	40.9
	サ	40.9
		トータル

学習対策

ここでは、教科・科目ごとにポイントとなる問題を取り上げ、その問題の概要と正解を導くために必要な力についてコメントをしています。今後の学習のアドバイス等も記してありますので、自分が受験した教科・科目を確認して復習に役立てましょう。

なお、大問ごとの講評、学習のアドバイスは  **模試ナビ** 河合塾 全統模試 学習ナビゲーター に掲載していますので、確認をしてください。

英語

【リーディング】

時系列に情報を整理して読もう

第6問 読解問題(物語文) 出来事が起きた順に並べる問題

第6問では、ストーリーや体験談などを読んで、本文で述べられている出来事を起きた順に並べることが求められる問題の出題が予想される。今回の問題は問1がそのような設問であったが、この種の問題では、正答率も低く、上位レベルと下位レベルで正答率の差が大きくなる傾向がある。出来事を起きた順に並べる4つの空所全部が正解で得点を与えられるという難しさはあるものの、問題の解き方に慣れることで精度を高めることは十分に可能である。

まず、この種の文章を読む際には、主要な登場人物の関係とそれぞれの行動と心情を整理しながら、ストーリーの展開をつかむことが重要である。また、ストーリーは必ずしも時系列に展開されるとは限らない。今回の問題では、エラがガールスカウトのキャンプで訪れた場所にミアを誘う場面から始まり、次のパートでは、ミアとエラがどのように出会い、友情を深めてきたかが描かれている。続く第3パートは冒険の場面に移り、近道を選んだことでエラが足を負傷し、救急車で搬送されたことが述べられている。最後のパートは翌朝のことで、ミアが嘘をついたことで両親に叱られながらも、条件付きでガールスカウトへの参加を許される様子が述べられている。こうした大きな展開を整理して読み取ることができれば、仮にわからない表現や、知ら

ない単語があっても、正解に必要な情報は読み取れるはずである。第6問では、本文で述べられている出来事を起きた順に並べることが求められる問題以外にも、主要な登場人物の関係や行動、心情を問う設問が出題されている。これらの問題に対しても、上記のような読み方が有効になる。今回の問題の場合、問2と問3が主要な登場人物の心情や行動を問う問題であった。

主要な登場人物の関係とその行動と心情を整理しながら読むやり方をより意識的に行うためには、主要な登場人物が本文に登場したときに下線を引いたり、主要な出来事に関して簡単なメモを取ったり、番号を打ったりするなど、手を動かしながら読むことも有効である。今回問1を正解できなかった人は、プレテストまでに第1回から今回の共通テスト模試の第3問、第6問を使って自分に最も合うやり方を見つけ、それに慣れるところから始めてみてはどうだろうか。さらに、問題を解く際には、本文を読む前にワークシートやノートに与えられている情報や設問で問われることに目を通し、問題の条件を押さえおくことも重要である。

【リスニング】

聴き取った複数情報を統合・判断し、論点を整理しよう

第6問B 【会話長文意見・図表選択問題】

身近な話題や馴染みのある社会的な話題に関する会話や議論を聴き、それぞれの話者の立場を判断し、意見を支持する図表を選ぶことを通じて、必要な情報を把握する力や、それらの情報を統合して要点を整理、判断する力を測定する問題

本問は、「三人の大学生が公共の場で大きな音を出すことについて話をしている」状況での会話を聴き取り、公共の場ではスマホの音を出すべきではないと思っている人を判断する力と、会話を踏まえてエミコの考えの根拠となる図表を選ぶ力が求められている。

問36は、グレッグの最初の発話 Maybe you shouldn't, Emiko. ..., and I don't think they want to be disturbed by us making noise. と、エミコの2回目の発話 Greg's right. You should wear earphones or watch it with the sound off. および、3回目の発話にある We should try to be considerate of others in public places. を聴き取り、この二人が公共の場ではスマホの音を出すべきではないと考えていることを理解する。なお、タラは4回目の発話で But ... OK, I'll use my earphones, although I don't agree with you about the smartphone noise. と言っており、グレッグとエミコに説得されて音量を上げる代わりにイヤホンを使うことにするが、二人の考えに賛同しているわけではないことを理解する。

問37は、エミコの3回目の発話にある Anyway, smartphone noises are different and more annoying than typical city noises. を聴き取り、スマホの音が街の中の他の騒音よりも耳障りであることを示す図表を選ぶ。

【アドバイス】最初に、音声流れる前のポーズ時間を利用して日本語で印刷されている「状況」と「図表のタイトル」を素早く読み取り、理解し、音声流れる前に会話の展開について大体的見当をつけておくこと聴き取りに余裕が持てる。次に、実際に音声を聴く段階になると、必要な情報を聞き逃がさないように音声に集中する。最後に、読み上げが終わった直後のポーズ時間を使って、聴き取った情報を整理し、選択肢を特定する。この問題では「複数情報を比較判断する力」が求められるので、長めの会話を繰り返し聴いたり、その一部を記憶したり練習をすることで対策ができる。

数 学

【数学Ⅰ，数学A】【数学Ⅰ】

日常の事象と絡めた2次関数の問題に慣れよう！

【数学Ⅰ，数学A】第2問〔1〕2次関数

【数学Ⅰ】第3問〔2〕2次関数

2次関数のグラフ(放物線)の平行移動を利用して投球機から発射されるボールの軌道を調べる問題

「2次関数」の分野について、2025年度の本試験では、噴水の水が描く曲線を放物線と見なしてその高さや水の出る位置を考察する問題が出題された。このような「2次関数を利用して日常の事象を調べる」タイプの問題に焦らず対処できるかどうかは、模試や予想問題集などで類題に取り組んだ経験の有無によっても大きく左右されるであろう。こういった出題は今後も続くと考えられ、十分な対策が必要である。

本問の(1)は、軸の方程式と通る2点の座標がわかっている放物線およびそれをy軸方向に平行移動してできる放物線の方程式の導出のしかたを習得できているかを確認する問題である。(2)ではさらにx軸方向の平行移動も追加されて考察の難易度が上がる。平行移動によってできる放物線の方程式を求める際には、あらかじめ移動前の放物線の式(2次関数)を平方完成して頂点の座標を調べておき、その頂点が平行移動によってどこに移るかを考えるのがポイントである。また、平行移動によって x^2 の係数は変化しないということも押さえておきたい。

近年の共通テストの数学①では、「図形と計量」や「2次関数」の分野で日常の事象と絡めた問題が出題される傾向があり、それらの問題に苦戦する受験生は多いようである。しかし、難解に感じられる主な理由は問題の設定が複雑であることによるケースが多く、問題文を正しく読み取って内容と意図を把握すれば、肝心の計算部分はそこまで大変ではない。

長い問題文や複数の図表から立式や求値のために必要な情報だけを素早くすくい上げるには訓練を要する。模試や普段の演習においてそういうタイプの問題に出会った際には好機と捉え、すべての疑問点が解消されるまで丁寧に復習しよう。

【数学Ⅱ，数学B，数学C】

日常現象を数学を用いて分析する訓練をしよう！

第2問 指数関数・対数関数

音の周波数を対数関数を用いて分析する問題

共通テストでは、日常現象を数学的なモデルに置き換えることによって分析する問題が出題されている。こういった問題では長い問題文から数学的意味を持っている部分を的確に読み取り、問題文の指示に従って日常現象を数学的なモデルに置き換えられるかが重要である。本番は時間との戦いになる可能性が高いので、こういった問題文の読み取りの訓練をしっかり行っておこう。この問題では音の周波数を常用対数を用いて分析している。その際に、必要な式を立てたり、その式を変形したりする仕方については、問題文に色々書かれているので、それをしっかり読み取って計算を進めていこう。このように共通テストではある程度やるべきことのヒントが問題文に書かれていることも多いので、それを読み取って計算の方針を立てることも意識して訓練しておこう。

また、共通テストでは様々な表の読み取りの力を試す問題が出題されている。本問でも常用対数表が与えられているので、これを用いて、真数の値から常用対数の値を求めたり、常用対数の値から、真数の値を求める力が要求される。ただし、常用対数表では真数の値が1以上10未満まで(対応する常用対数の値は0以上1未満まで)しか与えられていないので、真数(対応する常用対数)の値がこの範囲になるように常用対数の式を変形せねばならない。 a を $1 \leq a < 10$ を満たす実数として、真数を $a \times 10^n$ (n は自然数)の形に表して常用対数をとると、 $\log_{10}(a \times 10^n) = (\log_{10} a) + n$ となり、 $\log_{10} a$ の値は常用対数表から読み取ることができる。また、 $\log_{10} x$ の値を整数部分と小数部分に分けると小数部分は0以上1未満であるから、常用対数表から対応する真数の値を読み取ることができる。このような式変形のヒントも問題文にある程度与えられているのでこれを読み取って早く正確に計算できるように練習しよう。また、この機会に正規分布表(今回は選択問題の第5問で使われている)や三角比の表についても確認しておこう。

国 語

【現代文】

文章全体を一つのまとまりとして捉えるようにしよう

第2問 問7

本文全体の内容を踏まえ、傍線部について答える問題

この問7では、傍線部における登場人物の心情が問われている。ところがすべての選択肢に、猪の話題が登場する。たしかに冒頭近くの部分で、登場人物たちは檻に入れられた猪を見て感慨にふけるのだが、しかし傍線部の場面はその猪の場面とはかなり離れている。したがって、ここで登場人物が猪のことを思い出しているかどうかは、厳密にいえばわからない。ではこの問題の答えは出ないのかというと、そんなことはない。設問には、登場人物の心境について「どのように考えられるか」とある。つまりここで問われているのは、文章全体を一つのまとまった話と捉えた場合、傍線部をどう〈解釈〉できるかということなのである。

このように入試現代文では、出題者が受験生に一定の〈解釈〉を求めてくるということが少なくない。そのときに重要になるのが、評論であれば文章全体の主題を意識するという、小説であれば小説全体がどういう世界を描いているかを意識するということである。この設問も、小説全体が〈1960年代における老境を迎えた女性のありよう〉を描いたものだということが意識できれば、さほど迷うことなく正解できる。こうした問題の解き方を身につけるようにしよう。

【古文】

複数文章の問題を読解力で突破する

第4問 問4

複数の文章の読解を求める会話空欄補充問題

問4は、共通テストに典型的な設問である。生徒と教師の会話中に三箇所の空欄が設けてあり、それを埋める内容を選ばせる。しかも、会話中で教師が本文の読解に参考となる和歌を紹介し、その和歌をヒントにして本文の読解を促す。このような設問では、当然ながら、受験生は、各空欄が何についての記述であるかを確認するべきである。今回は、Xには【文章Ⅰ】の姫君についての描写、Yには【文章Ⅰ】と【文章Ⅱ】の姫君の付き添いの違い、Zには【文章Ⅰ】の最後の三

位の中将の行為の説明が入るが、空欄の周辺に特に注目して、各空欄が何を問うているかを把握すること、2つの文章を比較して読むこと、設問に引用された和歌を参考にすることなど、共通テストに特徴的な要素が詰まっていた。

しかも、今回は特に厄介なことに、Xは【文章Ⅰ】全体から姫君について説明した箇所を見渡して確認しなければならず、Yは、会話に出てくる「付き添っている人」が、【文章Ⅰ】では少将、【文章Ⅱ】では対の君と言われる人物であることを意識して、それらの人について書いている部分を探して考えなければならなかった。このように時間と労力を割かなければならない設問は、事前の形式練習と慣れが結果に大きく影響する。意識して見直しておいてもらいたい。

【漢文】

二つの文章の内容や趣旨を把握する

第5問 問6

本文の趣旨についての説明問題

本問は、【文章Ⅰ】と【文章Ⅱ】を踏まえて劉安世と薛宣の「役人のあり方」に対する見解を把握する問題である。

【文章Ⅰ】は、劉安世が馬永卿に与えた助言が記されている。劉安世の『漢書』を引用した発言から、「役人は法の規定を模範に職務に励むべきで、日頃から法律を学んでおく必要がある」という見解を読み取る。

【文章Ⅱ】は、薛宣が薛惠の部下に対して述べた発言を元に整理する。薛宣は役人のあり方について、「役人は法の規定を模範に職務に励むべきであるが、立派に職務を遂行できるか否かは、生まれつきの才能による」という見解を読み取る。

以上を踏まえて各選択肢を検討するが、劉安世・薛宣の発言の要約として適当なものかどうかを、本文の記述と選択肢の説明とを丁寧に照合して正誤を判断する。

共通テストでは、共通の主題に基づく複数の文章が出題され、筆者ないし登場人物の見解や、複数の文章を総合した内容を把握する力が求められる。本問でも、【文章Ⅰ】と【文章Ⅱ】という複数の文章をもとに、それぞれの登場人物の見解を正確に理解することが重要である。重要語や句形の意味・用法をおさえながら、文章を読解する練習に努めることで、趣旨を正確に理解する実力を養成してほしい。

理 科

【物理基礎】

電気回路に関する基本公式を正しく使えるようにしよう

第1問 問4 直流回路の消費電力 直流回路中の抵抗の消費電力を比べる問題

物理基礎において、電気回路の問題はそれほど多くのパターンがあるわけではなく、抵抗の消費電力を考える問題は典型的なものである。消費電力の値そのものを求める問題もあれば、本問のように各抵抗の消費電力の比の値を求める問題もある。消費電力 P は、電圧 V 、電流 I 、抵抗値 R を用いて、 $P=VI=RI^2=\frac{V^2}{R}$ と、それぞれ二つの物理量の組み合わせで3通りの表し方がある。どの形で考えていけばいいか、悩ましいところかもしれないが、「比べる」場合には二つの物理量のうち、「一つは共通なもの、一つは違いの明らかなもの」の組合せがわかりやすい。

問題の図4の抵抗器は全て同じ抵抗値であるから、 R が共通である。したがって、 $P=RI^2$ か $P=\frac{V^2}{R}$ のどちらかの形が使いやすいことになる。次に、図4の回路図で抵抗 R_1 を含む抵抗3個の並列部に注目すると、並列部の各抵抗には同じ電圧がかかるので、それぞれに同じ電流が流れることがわかる。それらの電流が合流して抵抗 R_2 に流れていくので、抵抗 R_1 を流れる電流の3倍の電流が抵抗 R_2 に流れることもわかる。つまり、抵抗 R_1 と R_2 で違いの明らかなものは電流 I であるから、今回は $P=RI^2$ で比べるのが最も楽だろう。この場合、消費電力は電流 I の2乗に比例することから、電流が3倍であれば消費電力は $3^2=9$ 倍になる。なお、抵抗 R_1 と R_2 では電圧が異なることも改めて確認しておいてほしい。

物理基礎では電気分野の扱いが小さく、あまり問題演習が出来ていないため、電気分野を苦手とする受験生も多いが、それは「差のつく分野」ということでもある。焦らずに基本的な回路の問題から確実に解けるようにしよう。

【物理】

正確な基礎の理解が、定性的思考を可能にする

第2問 問2 小物体にはたらく力の正しい図示 遠心力は慣性力の一種であると理解しているかを確認する問題

共通テストでは、少しの計算で答えが求まるか、計算はほぼ不要である場合がほとんどである。しかし、全学力層の受験生が受けるため、易しい問題から難しい問題までを配して、実力に応じて得点差が生じるようにしなければいけない。結果、難しめの設問としては、「理解が浅いことが多いもの」「間違った理解が多いもの」「計算ばかりに意識がいかって、現象の理解や原理・法則の理解が足りないことが多いもの」が用意されることになる。

遠心力は慣性力である。慣性力は、加速度運動している観測者から見た場合にのみ、はたらく力である。したがって、遠心力も共に円運動する観測者から見た場合にのみ、はたらく力である。本設問は、外で静止している観測者Aさんから見たときに小物体にはたらく力であるから、遠心力ははたらかない。「円運動しているから遠心力」などのいい加減な理解でないよう、気を付けてほしい。このあとの設問も、静止した観測者Aさんから見る場合と、円筒と共に円運動している観測者Bさん・Cさんから見る場合が、入れ替わりながら進んでいく。「観測者が誰か」「慣性力の有無が決まる」という理解を、しっかり持つておこう。

自然科学は、自然界の原理・法則を発見し、それに基づき自然現象を判断する学問である。根拠があいまいなまま「なんとなくこうかな」という取り組み方では、得点につながらないのはもちろん、そのあとの学習にも支障が出る。自分の考え・判断を検証していくことが大切である。また、「間違える」というのは、自分の理解を修正する大チャンスでもある。どういった考えが誤りであるか、そして正しい考えはどういったものであるか、それをはっきりさせるだけで、脳がアップデートされる。

計算量は少なくとも、段階的な思考や複数の作業が必要な問題は、いくつか出題される。そういった問題で「雑な思考」をしてしまうと、正解できない。正しい考えに至るには、頭の中だけで考えず、「書く」「描く」という作業が有効である。これらは、思考を深め、論理的に考える力を育てることに極めて有効である。「書く」「描く」ことで、「なんとなく考える」から「論理的に、正確に思考する」ことを身につけてほしい。

【化学基礎】

データを読み取り活用する力をつけていこう！

第2問 問4

溶液中の溶質と溶媒の質量から凝固点を考察する問題

共通テストまであと数か月という時期を迎え、多くの受験生は徐々に基礎学力を固める段階にあるように思われる。化学基礎の内容について問題集や教科書の章末問題などの様々な問題演習を行うようになってくると、第1問の小問集合の正答率は次第に上がるようになってくるだろう。しかしながら、総合問題形式の第2問では、与えられた文章やデータなどを読み取って内容の分析を行い、現象を考察する力も必要となるため、これらへの対応も必要になってくる。したがって、このような形式の問題にも取り組み、対応力を身につけてほしい。

問4 aは、与えられたデータから溶液の濃度と凝固点の関係を考察する問題である。表1中の結果1～3をみると、水の質量は同じとき、溶かしたNaClの質量の増加に伴って水と水溶液の凝固点の差が比例して大きくなっていることがわかる。また、結果1, 4, 5をみると、溶かしたNaClの質量は同じとき、水の質量が多くなるほど、水と水溶液の凝固点の差が反比例して小さくなっていくことがわかる。こういった問題では、NaClの質量や水の質量を固定して比較するなどし、その関係性を考えやすくするなどの工夫が必要である。問4 bでは、問4 aで得た知見を活用できるかが問われている。結果1と比較するとNaClの質量が10倍、水の質量が5倍であり、水と水溶液の凝固点の差はNaClの質量に比例、水の質量に反比例することから、水と水溶液の凝固点の差はトータルで結果1の2倍となると考えればよい。また、水100gあたりのNaClの質量(1.17g)を考えると、結果2の水溶液と同じ濃さなので、凝固点は結果2と一致すると考えてもよいだろう。問4 cでは、出題の意図を読み取れるかが問われている。氷となった質量は液体の水から取り除かれるので、そこで液体の水の質量が減少していることに気付けるかどうかポイントである。

今回取り上げた問題では、データを読み取り活用する力が問われている。本番でもグラフや表などから必要な情報を読み取り、考察する問題の出題が予想される。共通テストの過去問や模試などを通じこのような思考力を要する問題にも十分に取り組んでおきたい。

【化学】

問題の設定を把握し、用いる原理・法則を判断しよう！

第2問 問4 化学平衡

基本的な原理・法則を組み合わせて解答する問題

$\text{N}_2\text{O}_4 \rightleftharpoons 2\text{NO}_2$ の化学平衡を題材とした問題であった。

aは、圧平衡定数 K_p を、全圧 P と N_2O_4 の解離度 α を用いて表す問題であった。圧平衡定数は、分圧を用いた平衡定数なので、まずは、平衡時の物質質量から、混合気体における法則(分圧=全圧×モル分率)を用いて分圧を求める。次に、圧平衡定数の式に各分圧を代入すればよい。

bは、 N_2O_4 の解離度と圧力、温度の関係を表すグラフを選択する問題であった。「 N_2O_4 の解離度が大きい」=「平衡が右へ移動」を判断し、平衡の移動方向をルシャトリエの原理により考えれば、解答を選択することができる。共通テストでは、グラフが絡められた問題が頻出である。問題演習を通して慣れていこう。

cは、 N_2O_4 が凝縮し始めるときの圧力を求める計算問題であった。 N_2O_4 の飽和蒸気圧と圧平衡定数の値が与えられており、ポイントは、「 N_2O_4 の凝縮が始まる時」=「 N_2O_4 の分圧が飽和蒸気圧に達したとき」である。あとは、 N_2O_4 の飽和蒸気圧を圧平衡定数に代入すると、 NO_2 の分圧が求まり、全圧(=分圧の和)も求まる。

これら一つひとつの問題は基本的な内容が中心であるが、共通テストは解答時間に余裕がないので、上記の内容を素早く判断できたかがポイントであった。

共通テストでは、一見、難しそうな問題も出題され、化学の基本的な知識や技能を活用する力が試される。今後の学習として、まずは、化学の全範囲について、問題演習を通して、教科書に記載されている基本的な知識の定着、原理や法則を当てはめる技能の習得を目指そう。さらに、過去の共通テスト、模擬試験や講習会、予想問題などを活用して、問題の設定・状況を把握し、どのような知識や原理・法則を用いれば正答に至るかを考える練習をしよう。

【生物基礎】

知識をもとに考察する問題を解く力を身につけよう！

第1問 問6

翻訳のしくみの知識をもとに、リード文に記されている塩基配列から合成されるタンパク質を解釈する問題

第1問Bは遺伝情報の発現について扱った問題であり、問6は、図1に示されたマウスP～Rの塩基配列から合成されるタンパク質のアミノ酸の数と配列を解釈する問題である。翻訳の過程では、開始コドン(AUG)に続いて塩基3個ずつのコードンの読み枠になることを知識として知っておく必要がある。この問題では、リード文に「開始コドン(AUG)の最初の塩基Aを1番目として」とあるので、塩基番号が3の倍数ごとにコードンが区切られていくことを理解する。したがって、3の倍数である102番目の塩基がコードンの区切れ目となるので、103番目から3個ずつ区切っていくと、マウスPとマウスQでは115～117番目が、マウスRでは106～108番目がそれぞれ終止コドンになることがわかる。さらにマウスPとマウスQは106～108番目のコードンが異なるので、アミノ酸配列が異なることがわかる。この問題は、101番目以降の塩基配列について、コードンの読み枠を正確に区切り、表1のコードン表からそれぞれの指定するアミノ酸を読み取ることがポイントである。この問題は、上位層と下位層で正答率の差が大きく開いた。

『生物基礎』の共通テストでは、知識問題の出題が多いので、必要な知識を身につけることは重要であるが、同じ問題集の問題を繰り返し解いて、問題の答えを覚えただけの学習に終わっている受験生が多くみられる。近年の共通テストでは、上述のような知識をもとに与えられたデータを解釈する考察問題が多く出題されるようになりつつあるので、このような問題の対策にはやはり問題演習を十分に重ねることが必要である。ただし、問題を解く際には、問題文やデータをよく読んで十分に考えることが重要である。あまり考えずにすぐに解答や解説を見てしまっは練習にならないので、その点を十分に注意しよう。また、共通テストでは、実験を読み解く考察力や判断力が重要であることが強調されている。そのためには、初見の問題を数多く解くことで、問題文に書かれている実験の内容を解釈する練習をしていこう。

【生物】

実験の内容を的確に把握して考察する力を身につけよう！

第2問 問4 動物の配偶子形成

実験の内容を把握し、示されたデータを適切に解釈する問題

実験考察問題では、実験の目的を把握した上で実験の内容を正しく読み取り、実験結果を適切に解釈することが重要です。

問4(1)では、実験1～5の結果と問題文で与えられた情報、および問3で解答した内容などから、タンパク質Mとタンパク質Sの働きを考察する必要があります。

タンパク質Mの働きについては、実験5の結果から、減数分裂を行うために必要であることが分かり、問4の設問文から、遺伝子の発現調節に関与することが分かります。これを踏まえて問4(1)の選択肢を検証することで、タンパク質Mは、「減数分裂の開始に関与する遺伝子の発現を調節することで減数分裂の開始を促進する働きがある」と考えられます。

タンパク質Sの働きについては、実験1の結果や問3で解答した内容から、タンパク質Mと同様に減数分裂を行うために必要であることが分かり、実験4の結果から、タンパク質Mと結合することが分かります。これを踏まえて問4(1)の選択肢を検証することで、タンパク質Sは、「タンパク質Mと結合することでタンパク質Mの働きを促進する」と考えられます。

問4(2)では、①～④に示された実験が、(1)で答えた考察が正しいかどうかを調べるために追加すべき実験として適当かどうかという観点で検証します。単に文章の正誤を判断するわけではないということに注意する必要があります。

①の実験は、タンパク質Sやタンパク質Mの発現する時期と減数分裂が開始される時期との間に関係があるかどうかを調べる実験になります。また、②の実験は、タンパク質Mによって発現が調節される遺伝子が減数分裂の開始に関与する遺伝子であるかどうかを調べる実験になります。一方、③や④の実験で得られる結果からは、(1)で答えた考察が正しいかどうかについての情報は得られません。

共通テストでは、この問題のように、実験の内容を的確に読み取って考察する力が要求される問題が数多く出題されます。このような問題に対応するために、共通テストの過去問や共通テスト模試の問題などを利用して考察問題を数多く解いておきましょう。

【地学基礎】

問題文を丁寧に読み、基本的な知識を応用できるようにしよう！

第2問 問1

偏西風の蛇行の仕方とハドレー循環の上層の風の吹き方を考察する問題

地球規模の大気大循環を考えた場合、中緯度では地表付近で偏西風が卓越していますが、対流圏上層でも、偏西風が南北方向に蛇行しながら、西から東へと吹いています。このことは、身につけておかなければいけない基本的な知識です。ある地点で方位を考える場合、北極の方向が北になり、その反対方向が南になるので、西と東の方向も判断できます。偏西風は西から東へと吹いていくので、北極上空から見た偏西風の動きは反時計回りになります。したがって、<北極上空から見た対流圏上層を吹く風>は**b**が正解であると判断できます。

ハドレー循環は、赤道付近の熱帯収束帯で上昇した空気が亜熱帯高圧帯で下降し、北半球の地表付近では北東貿易風として、南半球の地表付近では南東貿易風として、熱帯収束帯に戻る循環です。このことは、身につけておかなければいけない基本的な知識です。ただ、この問題では、地表付近で吹く風について問われているのではなく、ハドレー循環の上層を吹く風について問われています。北半球では北東貿易風、南半球では南東貿易風ということから**d**が正解だ！と単純に考えてしまいそうですが、地表付近で**d**のように風が吹き、ハドレー循環の上層でも**d**のように風が吹いていたなら、循環にはなりませんよね？循環になるためには、上層で吹く風の方向は、地表付近で吹く風の方向と逆にならないといけません。したがって、<赤道上空から見たハドレー循環の上層を吹く風>は**c**が正解になるのです。【学習の手引き】の図2-1で示されるハドレー循環の様子を理解していれば、難なく**c**が正解であるとわかったでしょうが、ハドレー循環の上層を吹く風の方向までは理解していなかったとしても、上記のように、循環になるための状況を考えれば、おのずと正解にたどり着けるわけです。単純な知識問題だと思って④を選択した受験生が多かったようですが、この問題のように、知識問題のように見えて実はそうではないということもあるのです。ですから、共通テスト本番までに、問題文を丁寧に読んで注意深く解答していくという訓練を十分にしておく必要があるのです。

【地学】

エルニーニョ現象の全体像を正確に理解しよう！

第4問 問2 大気と海洋の相互作用

エルニーニョ・南方振動を考察する問題

第4問は、共通テストで頻出である「エルニーニョ・南方振動」をテーマとした問題である。この現象は、大気と海洋の相互作用を理解する上で非常に重要であり、地学の中でも特に受験生の正確な理解が求められる分野の一つである。問2では、エルニーニョ現象が海面水温の変化、南方振動が東西の気圧差の変化であることを把握し、さまざまな要素の因果関係や地球規模での影響を総合的に理解しているかどうかを問う、より発展的な内容となっている。そのため、この問題を通して、自分の理解の程度を確認し、共通テスト本番に向けてどのように学習を進めるべきかを見直すことができる題材であるため、ここに取り上げた。

以下に**a**・**b**の選択文の正誤について解説する。

a エルニーニョ現象時には、「ペルー沖の海面水温がまわりの海域よりも低くなる」という知識を有している受験生は多いが、ペルー沖が太平洋赤道域の東側であることを把握していないと、正しい選択肢とみなしてしまう可能性がある。太平洋赤道域では、エルニーニョ現象時の海面水温は東側が低温、西側が高温になることを確認しよう。

b 南方振動は、「太平洋赤道域では、海面気圧が東部と西部でシーソーのように変化する」という現象の暗記のみにとどまっていると、正誤の判定に迷う。太平洋赤道域の海面気圧は通常時では、東部で高く西部で低いこと、南方振動は通常時との差がシーソーのように変化する現象であることを把握しておく。エルニーニョ現象時には、海面気圧が東部で下がり西部で上がるため、東西の気圧の差が小さくなる。ラニーニャ現象時には、海面気圧が東部では上がり西部では下がるため、東西の気圧の差が大きくなる。

今後の学習に向けてのアドバイスとして、本模試でも出題された重要な地学現象である「地震波トモグラフィ」、 「結晶分化作用」、 「潮汐」などのメカニズムを正確に把握し、状況を変えて考えたり、異なる視点から分析したりする「応用力」や「思考力」を身につけよう。

地理歴史， 公民

【地理総合】

エネルギー消費は， エネルギーの特徴と国・地域の構成を定着させよう！

第1問 問4

地球環境問題と資源・エネルギー問題

二酸化炭素排出量と， エネルギー消費構成について， 「1人当たり二酸化炭素排出量， GDP 当たり二酸化炭素排出量ともに少ない国・地域」のエネルギー消費構成の特徴と， それに該当する国・地域の組合せについて6択で問うた問題である。チの空欄に関してはEU (i)を選んだ解答が多かったが， タの空欄(「1人当たり二酸化炭素排出量， GDP 当たり二酸化炭素排出量ともに少ない国・地域の特徴」)に該当する f (化石燃料の割合が高い)と g (再生可能エネルギーや原子力・水力などの割合が高い)を誤り， 下位層では， ㊹を選んだ解答が正答に次いで多かった。問題文を読み間違えた受験生もいたかもしれないが， エネルギーの特徴を整理するとともに， 国・地域ごとのエネルギー消費構成の特徴など， もう一度確認しておいてほしい。

自然環境は， 分布と成因を整理しておこう！

第3問 問2

特徴的な地形の写真と分布・成因

特徴的な地形を撮影した写真について， 撮影地点と地形の特徴の組合せについて4択で問うた本問では， 撮影地点を正しく選んだ解答が比較的多かったが， 下位層では， 乾燥地域で発達する地形(ビュート)についての説明を選んだものが正答に次いで多かった。地点 f は， 中国南部のコイリン(桂林)であり， 石灰岩の溶食地形であるタワーカルストが発達する代表的なところである。カルスト地形などの特徴的な地形については， 分布だけでなく， 成因についても整理しておいてほしい。

【歴史総合】

問題文の読み取りと知識を合わせて考えよう！

第1問 問7

第二次世界大戦後の中東情勢に関する正誤問題

本問は， ミュンヘンオリンピック事件の背景となる中東情勢に関する2文の正誤を判断する問題である。パネル3を読んで， イスラエル(ユダヤ人)とパレスチナ(アラブ人)の対立が背景にあることは容易に読み取れると思う。したがって， あが正しいことは判断できるだろう。問題はいである。まず， 第4次中東戦争が1973年の出来事であることは知っておいてほしい。この戦争を機に第1次石油危機が起こり， 日本の高度経済成長が終焉するといった画期となる年である。一方， パネル3にはミュンヘンオリンピック事件が「1972年」と示されている。つまり， 第4次中東戦争はミュンヘンオリンピック事件よりも後であり， 「事件の背景」とはなりえない。また， いは内容も誤っている。第4次中東戦争を機にアラブ諸国は原油の輸出を制限したため， 原油価格は高騰したのである。つまり， 「原油価格が下落していたため」の部分が誤っているのである。

資料から解答に必要な情報を見つけ出す

第2問 問6

内容 各選択肢の正誤の組合せを資料の内容から判断する問題

選択肢①～④を見ると， あといのいずれか， うとえのいずれかが正文であることが分かる。まずはあといの吟味， すなわち日本に関する資料1と資料2が制定された時期を確定させよう。両者を比較すると， 資料1では男女の共学を認めている一方， 資料2では小学校を除き男女の共学を認めていないことが読み取れる。従って， 第二次世界大戦後の日本で制定された教育基本法により男女の共学が規定されたことを想起できれば， 資料2→資料1の時代順が特定できる。次にうとえの正誤を吟味しよう。資料3は， 資料中の第1条および第181条の内容から， ヴァイマル憲法が議決された時期のドイツ共和国で制定されたことが読み取れる。これを踏まえ， 「ヒトラー政権下のドイツでヴァイマル憲法が停止された」という知識を用いてうを誤文， 資料3の第148条の内容と合致することからえを正文と判断する。資料を用いた問題は， 資料と各選択肢の内容を照らし合わせて， 解答の根拠となる情報が資料のどこに潜んでいるかを見つけ出す必要がある。

【公共】

注目を集めた近年の出来事にも注意しよう

第4問 問4

核管理・核軍縮条約についての知識問題

この設問では， 核管理・核軍縮条約の内容や動向についての確に理解できているかどうかを試されている。

アは正しい。核拡散防止条約は， 条約が定める「核兵器国」(アメリカ， イギリス， フランス， 中国， ロシアの5か国がこれに当たる)以外への核兵器の拡散を防止することを目的とする条約である。同条約は， 原子力技術が平和的利用から軍事的に転用されることを防止するために， 条約上の「非核兵器国」に対して， IAEA(国際原子力機関)の保障措置を受諾することを義務付けている。

イは， 「東西冷戦の時代にアメリカとソ連の二国間条約として締結されたが， 冷戦終結後に失効した」という説明が誤り。包括的核実験禁止条約は， 国連総会で採択された多国間条約であり， 「アメリカとソ連の二国間条約」ではない。また， 同条約が採択されたのは， 東西冷戦の終結後の1996年のことであるし， 同条約は未だ発効にいたったことがない。なお， 「東西冷戦の時代にアメリカとソ連の二国間条約として締結され， 冷戦終結後に失効した」条約の例として， INF全廃条約(中距離核戦力全廃条約)をあげることができる(1987年締結， 2019年失効)。

ウは， 「日本もこれを批准している」という説明が誤り。核兵器禁止条約は， 2017年に採択され， 2021年に発効した条約である。アメリカの核の傘の下にいる日本は， 核兵器禁止条約を批准していない。なお， 2024年にノーベル平和賞を受賞した原水爆被害者団体協議会(日本被団協)は， その受賞演説において， この条約が制定されたことを大きな喜びであるとして歓迎するとともに， 同条約のさらなる普遍化を目指す決意を示している。

核管理・核軍縮をめぐるのは， 近年も大きな注目を集める出来事があった。核管理・核軍縮をめぐる動向に限ったことではないが， 政治や経済をめぐる近年の出来事について， 教科書に載っている範囲で良いから振り返っておくことをお勧めする。

【地理総合，地理探究】

農作物は，原産地だけでなく，生産統計などのデータを整理しておこう！

第3問 問3

3つの農作物の生産と原産地・栽培条件

3つの農作物(ジャガイモ，大豆，天然ゴム)の地域別生産割合と，原産地や生育条件に関して，ジャガイモについて9択の組合せて問うた本問では，正答率が上位層と下位層で大きく差が付いた。ジャガイモの原産地や生育条件に関する文(F)は比較的選んでいたが，生産統計では大豆(S)を選んだ誤答が，正答に次いで多かった。原産地と現在の主産地が異なる農作物は，大豆，ジャガイモ，キャッサバ，カカオ豆など比較的多く，出題される頻度も高い。統計関連の問題を苦手とする受験生も多いが，産業分野では，生産や輸出入の統計などデータに関する問題が多く，差が付きやすい。もう一度，主要農作物については，生産や輸出入などの統計を確認しておこう。

ヨーロッパ地誌は，国ごとの特徴を確認しよう！

第5問 問4

3か国の輸出品目と輸出額

ヨーロッパの3か国(スイス，デンマーク，ノルウェー)の輸出上位品目における，国と輸出品目の判定について，デンマークと魚介類の組合せを6択で問うた本問では，正答率が上位層と下位層で大きく差が付いた。ヨーロッパの国のなかでも，これら3か国は主要国とは言えないかもしれないが，前問の問3には地図があり，国の位置も示されている。全体でも，デンマークを子(ノルウェー)と選んだ解答が比較的多かったが，北海油田から産出する天然ガスや石油の輸出がノルウェーで多いことは，知っておきたい。また，大西洋や北海に面しているノルウェーやデンマークと比べて，内陸国のスイスで魚介類の輸出が多くはならない。ヨーロッパは，国の数が多く苦手意識を持っている受験生も多いが，各国の産業や民族構成などの特徴を自然環境などを踏まえて，地図帳を活用しながら確認しておこう。

【地理総合】の学習対策も確認しておこう。

【歴史総合，日本史探究】

資料を正確に読み，理解しよう

第2問 問3

資料を読んで，文章の正誤を判断する問題

近世に新田開発が大々的に進められ耕地面積が拡大するとともに，商品作物栽培がさかんになると，肥料の需要が高まり，その供給源である草地も拡大していった。すなわち，草地を維持するために樹木が生い茂るのを人為的に防がなくてはならなくなったのである。しかし，こうした樹木の少ない山は災害に弱い。大雨の際に土砂が流出して洪水の危険があるのである。資料2はこのことを指摘しており，波線部あは正しい。そこで，洪水対策として，幕藩領主は山への植樹を指図した。そうすると，やがて樹木が茂り下草などは減少するため，肥料の原料や家畜の飼料が不足し，農民らは困る。これを指摘しているのが資料3であり，波線部い・うも正しい。

つまり，農業生産のために草地を是とする農民たちと，洪水防止のために樹木の茂る森林を是とする幕藩領主とで，利害が相反するのである。自給肥料の供給が困難になったことが，金肥の使用を不可避とし，そのことが農民への貨幣経済の浸透，ひいては農民の階層分化へとつながっていった。

内閣と政党・議会との関係をおさえよう

第6問 問1

第2次伊藤博文内閣と議会との関係を問う問題

近現代の政治史の学習では，内閣ごとの出来事・事績を整理することが主軸となるが，議会開設～日清戦争の初期議会については第1～第6の議会ごとの整理も必要となる。

まず，初期議会では政府と議会(政党)とが激しく対立し，日清戦争後は紆余曲折がありながらも政府と政党とが接近・提携していく，という大きな流れをおさえよう。そして，初期議会のうち，第1～第4議会では軍事予算問題，第5・6議会では条約改正問題で，政府と議会(政党)が対立したことをおさえよう。第4議会では，第2次伊藤内閣が天皇から「和衷協同の詔」(いわゆる建艦詔勅)を引き出して民党の反対を抑えた。この後，自由党は第2次伊藤内閣の支持にまわったが，第5・6議会で立憲改進黨などが陸奥宗光外相の条約改正交渉に反対した。そのため，2度の解散総選挙となった。

【歴史総合，世界史探究】

資料などに示されているヒントや，問題文の条件を見落とさないよう留意する

第3問 問5

アフリカ分割に関する地図中の位置と具体的なアフリカ進出の事例について述べた文の組合せとして最も適当なものを選ぶ問題

まずは，文章中の「ある国」が建設した植民地の境界画定について述べた要約の内容を吟味して，この植民地が図2(地図)のaとbのどちらに該当するかを判断しよう。要約から，「ある国」の植民地の周囲にはドイツ・フランス・イギリスの植民地が隣接していることを読み取れるが，これだけで判断することは難しい。さらに要約の内容に目を通すと，ドイツ植民地・フランス植民地との境界を定めた緯度には北緯と南緯があることを読み取れる。よって，「ある国」の植民地は北半球・南半球の両方に位置することとなり，赤道を含むbが妥当であると判断できる。(なお，bはコンゴに該当することから，「ある国」はベルギーに該当するが，この問題においてはベルギーであることが分からなくても正解できる。)共通テストに登場する資料・地図・グラフ・表などには解答へのヒントが必ず含まれている。一般的に世界史探究で出題される地図には緯度・経度が示されていないにも関わらず，図2にはあえて緯度・経度が示されていることに違和感や疑問をもった人は，要約中の北緯・南緯・東経といった情報がこの問題を解くうえでのカギとなることに気付いたであろう。共通テストで頻出の「知識のみでは解けない問題」に対応するためには，こうした問題中に紛れているヒントを見落とさないよう心掛けよう。aとbの判断が解決したら，次は選択肢あといの吟味である。いずれも文の内容自体は史実だが，ここで問われている事例は，「アフリカに」進出した出来事であることに注目したい。要約から「要約の境界が画定された時期」が19世紀後半であることが分かるが，この時期のドイツが展開した3B政策とは，ベルリンからイスタンブル(旧名ビザンティウム)，バグダードといった西アジア方面への対外進出であるため，アフリカ進出の事例としては誤文となる。共通テストは資料などに目を通す必要があることから時間的な余裕はあまりないと思われるが，そのような中でも問題文の条件を見落とすといったミス無くすよう留意しよう。

【歴史総合】の学習対策も確認しておこう。

【公共、倫理】

心理学の考え方について理解を深めよう

第6問 問2

ヒューリスティックの種類に適合する具体的事例を判断する問題

この問題では、3つの具体的事例が、心理学上のヒューリスティックの3種類のどれに該当するかを判断しなければならない。

まず、アは、Cの利用可能性ヒューリスティックに該当する事例である。アの事例では、「たまたま」飛行機事故のニュースを目にしたことから、飛行機事故の確率は高いと考えてしまっているので、「統計的な事実よりも頭に浮かびやすい例をもとに判断する」という利用可能性ヒューリスティックに分類される。

次に、イは、Bの代表性ヒューリスティックに該当する事例である。イの事例では、オフィスが東京の一等地にあることや、経営者の持ち物が高価であるということから、その会社の経営状態は良いだろうと判断しており、「特定のカテゴリーの典型例との類似に基づいて判断する」という代表性ヒューリスティックに分類される。

最後に、ウは、Aの感情ヒューリスティックに該当する事例である。ウの事例では、好きな政治家の政策について、そのメリットを過大評価する一方でデメリットを無視しているため、「論理的な思考によってではなく好きか嫌いかに基づいて判断する」という感情ヒューリスティックに分類される。

倫理の学習では、つい哲学・宗教思想に目が向きがちであるが、心理学は従来から出題されている重要分野である。特に、新課程教科書では、従来以上に心理学に重点が置かれているので、今後の学習においては、今回取り上げたヒューリスティックのほか、認知バイアス、クリティカル・シンキング、記憶のメカニズム、パーソナリティの類型論と特性論など、心理学の様々な概念や考え方について、十分に理解を深めておくことが望ましいだろう。

【公共、政治・経済】

論理的思考力を身に付けておこう

第5問 問5

会話文の内容を踏まえた上で空欄に当てはまる記述を選択する問題

会話文で説明されているジョブ型雇用とメンバーシップ型雇用の内容を踏まえた上で、ジョブ型雇用のメリットとデメリットに関する記述を選択する問題であり、論理的思考力が求められている。

ア：ジョブ型雇用が「勤務地…をあらかじめ明確にして労働契約を結ぶかたちの雇用」であるという説明から、この雇用形態の下で「就業しやすくなる」のは、「育児や介護などの事情で転勤が難しい人」と判断することができる。また、ジョブ型雇用が「職務内容…をあらかじめ明確にして労働契約を結ぶかたちの雇用」であるという説明から、「さまざまな職務を経験してその企業の根幹を担っていきたい人」は就業しにくいと考えられる。

イ：ジョブ型雇用が「職務内容…をあらかじめ明確にして労働契約を結ぶかたちの雇用」であるという説明から、ジョブ型雇用には「スキルが求められるから、採用の際に新卒者が不利になる」というデメリットがあると判断することができる。また、「さまざまな職務を行うため、専門的なスキルが身につかない」のは、「汎用的な能力を求めている、職務内容や勤務地があらかじめ決まっていないメンバーシップ型の雇用」であると判断することができる。

このタイプの問題は、会話文の内容に従って論理的に考えれば正解に達することができる。過去問や模擬試験を通じて、論理的思考力を身に付けておこう。

情報

【情報 I】

シミュレーションに関わる設定を読み解く力を養成しよう

【情報 I】第2問B 確定的シミュレーション
仮定やシミュレーションの結果を考察する力を問う問題

本問は、「感染症の拡大」をテーマとした確定的シミュレーションを行うとともに、モデルの修正や結果に基づいて感染拡大を防ぐための方策を考える問題である。テーマそのものは難しいものではないものの、仮定や前提条件を正しく理解すること、どのようにモデルを修正したかを考えることなど、読解力、思考力を問うものであった。

問1は感染者数の推移をシミュレーションする際、4つの仮定を正しく理解したうえで、得られる結果を予測する問題である。単純な計算問題だが、仮定に照らして表1の感染者数、回復者数の推移で見られる規則性を理解できなければ、正答にたどり着けない。

問2はシミュレーションの結果を示した表の説明として適当なものを選ぶ問題であり、仮定の正しい理解と表の丁寧な読み取りが求められた。「過不足なく含む」という点を難しく感じたかもしれないが、解答の根拠は問題文や図表に必ず潜んでいると考えて取り組もう。

問3は表に基づいてモデルをどのように修正したかを考える問題である。先生から「一度感染した人は二度と感染しない」という設定が与えられている点に留意すると、前日の現在感染者1人につき翌日の新規感染者が2人生じるが、この数が感染経験のない人の数より大きい場合は、新規感染者は「感染経験のない人の数」が上限になることがわかるはずだ。この仮定は表2の結果からもわかる。このように、仮定を言い換え、モデルに反映させる力は、シミュレーションでは重要である。できなかった場合はしっかり復習しよう。

問4は感染対策をとった場合のモデルを前提とともに理解したうえで、その結果を予測するものである。問1や問2と同様に、与えられている情報を丁寧に読み解く必要がある。

シミュレーションの問題は2025共通テスト本試験でも出題された。設問文や問題文に基づき、何を目的にどんな仮定でモデルを組み立て、シミュレーションを行っているのかを正しく理解することが欠かせない。仮定についての理解を深め、それに基づきモデルを構築・修正する、という流れを確認しながら、全体の復習に取り組もう。

「成績推移」過回成績表示 申請について

このたびは、第3回全統共通テスト模試を受験していただきありがとうございました。
さて、個人成績表には、過去にも全統共通テスト模試を受験されている場合、学力伸長度・学習成果を確認いただくために「成績推移」(過回成績)を表示しています。

しかし、各模試受験時に提出いただく受験届の基本事項(カナ氏名、生年月日、高校コード、学年、クラス、出席番号、電話番号)に過去の回と一致しない項目があった場合(同一の方と判断できず)個人成績表の「⑤成績推移」欄に過回成績が表示されないことがあります。表示されていない過回成績の表示を希望される場合は、以下の手順に従って申請していただければ、過回成績を表示した個人成績表を改めてお届けします。

学校一括で申込・受験された全統共通テスト模試個人成績表には、個人で申込・受験された回の成績は表示されません。このケースについては対応できませんのでご了承ください。また、右の申請用紙は「過回成績」表示専用です。個人成績表の他の項目や得点等について修正することはできませんのでご了承ください。

①送付先

右の申請用紙の太枠内をすべて記入し、27ページに記載されている河合塾の営業部あてに郵送にてお送りください。なお、河合塾生(塾生として申し込んだ大学受験科・高校グリーンコース生)の方は、所属校舎へご提出ください。

②申請用紙の記入方法

成績表示されていない過去の全統共通テスト模試の「解答用紙番号」「受験番号」を記入してください。

③提出していただくもの

1. 右の申請用紙
 2. 今回の模試の個人成績表(コピーの場合は第1面と第4面を提出してください)
*ただし、Web返却対象者は必要ありません。
 3. 成績推移欄に表示されていない過去の全統共通テスト模試個人成績表(第1面のコピーで可)
- ※ 提出いただいた個人成績表は、一緒に返却いたします。

上記を同封し、封筒の表に朱書きにて「第3回全統共通テスト模試 過回成績表示申請」と明記してお送りください。

④送付締切日

12月2日(火)河合塾到着分まで受け付けいたします。

⑤返送日

個人成績表は、12月12日(金)頃発送の予定です。

【個人情報の取り扱いについて】

1. 申請用紙に記入された個人情報は、厳重に取り扱い適正な管理を実施します。
 2. 利用目的…個人成績表に過回成績の表示および成績返却
…過回模試の受験届に記入された情報の確認と修正
- 上記の2点の利用目的以外には使用しません。

申請用紙の記入・提出方法についてご不明な点がございましたら、下記のフリーダイヤルへお問い合わせください。

※河合塾生(塾生として申し込んだ大学受験科・高校グリーンコース生)の方は、所属校舎にお問い合わせください。

河合塾全統模試サポートセンター 受付時間:12:00~19:30
(日曜、祝日および12/31~1/3は受付を行いません)
フリーダイヤル:0120-977-558

*河合塾全統模試サポートセンターでは、正確な応対と対応品質向上のため、通話内容を録音させていただいております。

2025年度 第3回全統共通テスト模試 「成績推移」過回成績表示 申請用紙

●太枠内をすべてご記入ください。

提出日 月 日

フリガナ氏名				生年月日	S ・ H	年	月	日	
今回の解答用紙番号	—	今回の受験番号						性別 (O印を)	男・女
在・卒高校名		学年	クラス名	クラス番号					
住所 (連絡先)	〒 ※マンション名、部屋番号まで記入してください。								方
電話番号	() —	携帯電話番号			() —				
成績が表示されていない模試の解答用紙番号を記入してください。 ※受験番号は発番されている場合に記入してください。	模試名		解答用紙番号		受験番号				
	全統共通テスト高2模試		—						
	第1回全統共通テスト模試		—						
	第2回全統共通テスト模試		—						

※記入漏れがある場合、過回成績が表示できないことがありますのでご注意ください。

(過回成績表示についてのご確認)

個人情報保護により、高等学校、塾・予備校等の学校経由で申込み・受験された全統共通テスト模試個人成績表には個人で申込み・受験した過回の成績は表示されませんのでご了承ください。成績表示を希望される場合は、必ず過回の模試申込みの形態をご確認ください。

【河合塾記入欄】

受付日	受付者	返却日	返却者

お問い合わせ先一覧

■模試について

- ①個人でお申し込みの方 河合塾全統模試サポートセンター 0120-977-558
②学校を通じてお申し込みの方 河合塾全統模試サポートセンター 0120-717-558
③河合塾生の方 [高校グリーンコース生専用フリーダイヤル] 0120-751-577
※高校グリーンコース生以外の塾生の方は所属校舎へお問い合わせください。

*河合塾全統模試サポートセンター／高校グリーンコース生専用フリーダイヤル

受付時間：12：00～19：30（日曜、祝日および12/31～1/3は受付を行いません。）

■「成績推移」過回成績表示申請用紙の記入・提出方法について

- ①河合塾生の方 所属校舎
②河合塾生以外の方 河合塾全統模試サポートセンター 0120-977-558
www.kawai-juku.ac.jp/zento/grades/request/



■「成績推移」過回成績表示申請用紙の送付先 受付時間9：00～17：00（土日祝休み）

- 北海道営業 〒060-0809 札幌市北区北9条西3-3 (河合塾札幌校内) TEL(011) 708-8584
【担当地区：北海道】
- 東北営業 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-7-22 (河合塾仙台校自習棟内) TEL(022) 215-7581
【担当地区：青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島】
- 関東営業 〒330-0846 さいたま市大宮区大門町3-67-2 (河合塾大宮校内) TEL(048) 647-9581
【担当地区：茨城・栃木・群馬・埼玉・新潟・富山・長野】
- 首都圏営業 〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-2 四谷グローバルスタディスクエア6階 TEL(03) 6811-5532
【担当地区：千葉・東京・神奈川・山梨】
- 中部営業 〒464-8610 名古屋市千種区今池2-1-10 (河合塾千種校内) TEL(052) 735-1511
【担当地区：岐阜・静岡・愛知・三重】
- 近畿営業 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-13-1 TEL(06) 6372-5731
【担当地区：石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・岡山・徳島・香川・高知】
- 中四国営業 〒732-0057 広島市東区二葉の里1-1-50 (河合塾二葉の里オフィス2階) TEL(082) 264-4581
【担当地区：島根・広島・山口・愛媛】
- 九州営業 〒810-8619 福岡市中央区渡辺通4-2-11 (河合塾福岡校内) TEL(092) 714-5711
【担当地区：福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄】